

第 8 章 芸術・文化

第8章 芸術・文化

第1節 文化芸術の振興

1. 芸術文化鑑賞機会提供事業

文化庁や文化財団、市町村教育委員会及び学校等との共催により、児童生徒の豊かな感性を育むとともに本県芸術文化の振興を図ることを目的とする。児童生徒や一般県民に我が国の優れた舞台芸術等を鑑賞する機会を提供するとともに団体等との共演に参加したりするなど、児童生徒の文化活動の充実・発展をめざし下記の事業を実施した。

平成30年度実績 公演等総数(86回) 参加児童生徒総数(11,881人) その他の参加者(767人)

(1)文化庁提供事業

①「文化芸術による子供の育成事業」(巡回公演事業)

小学校・中学校等において舞台芸術公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。その際、事前にワークショップを行い、児童・生徒を実演に参加させるとともに、実技指導又は鑑賞指導を行う。

平成30年度

開催場所	開催月日	備考	児童生徒数(人)	職員保護者数(人)	参加校	公演数	種目	制作・公演団体・演目
宮古島市立平良第一小学校	11月27日 (火)	1次募集	546	46	1	1	合唱	公演団体：新国立劇場合唱団
中城村立津覇小学校	6月26日 (火)	1次募集	240	25	1	1	オーケストラ 3公演	公演団体： 名古屋フィルハーモニー交響楽団
西原町立西原南小学校	6月27日 (水)	1次募集	357	60	1	1		
竹富町立上原小学校	11月13日 (火)	1次募集	141	25	1	1		
本部町立上本部小学校	11月19日 (月)	1次募集	179	49	1	1	児童劇 3公演	公演団体：劇団あとむ
県立西崎特別支援学校	11月20日 (火)	1次募集	111	182	1	1		
竹富町立波照間小中学校	11月23日 (金)	1次募集	47	28	1	1		
八重瀬町立具志頭中学校	10月24日 (水)	1次募集	253	16	1	1	児童劇 2公演	公演団体：劇団プーク
石垣市立大浜小学校	10月26日 (金)	1次募集	322	0	1	1		
名護市立久辺小学校	6月18日 (月)	1次募集	182	45	1	1	演劇	公演団体：青年劇団
うるま市立具志川小学校	11月19日 (月)	1次募集	286	0	1	1	ミュージカル 3公演	公演団体：ポプラ
宮古島市立南小学校	11月21日 (水)	1次募集	498	33	1	1		
石垣市立石垣小学校	11月26日 (月)	1次募集	350	22	1	1		
那覇市立小緑小学校	11月8日 (木)	1次募集	222	30	1	1	歌舞伎・能楽	公演団体：鎌倉能舞台
本部町立崎本部小学校	6月1日 (金)	1次募集	112	44	1	1	邦楽 2公演	公演団体：志多ら
沖縄市立越來小学校	6月4日 (月)	1次募集	257	0	1	1		
宜野湾市立大謝名小学校	12月6日 (木)	1次募集	550	64	1	1	演芸	公演団体：落語芸術協会
計 17校			4,653	669	17	17		



本部町立崎本部小学校：邦楽



竹富町立上原小学校：オーケストラ



竹富町立波照間小学校：児童劇

②「文化芸術による子供の育成事業」(芸術家の派遣事業)

当該分野における講話、実技披露、実技指導等を実施する。

平成30年度

開催校	開催月日	備考	児童生徒数(人)	職員保護者数(人)	公演回数	分野	内容	被派遣者氏名
県立八重山特別支援学校	11月29日 (木)	1次募集	69		1	音楽	パーカッション	宮里 舞子
与那国町立与那国中学校	11/5, 7	1次募集	62		2	音楽	その他	小林 玄人
与那国町立与那国小学校	11/6, 7	1次募集	131		2	音楽	その他	小林 玄人
与那国町立比川小学校	11月6日 (火)	1次募集	9		1	音楽	その他	小林 玄人
石垣市立平真小学校	11/12, 14	1次募集	686		2	音楽	その他	小林 玄人
竹富町立大原小学校	11月13日 (火)	1次募集	67		1	音楽	その他	小林 玄人
竹富町立大原中学校	11月13日 (火)	1次募集	22		1	音楽	その他	小林 玄人
本部町立上本部小学校	9月26日 (水)	1次募集	176		1	演劇	現代劇	渡邊 晶子
大宜味村立大宜味小学校	12月17日 (月)	1次募集	150		1	音楽	ピアノ	木内 佳苗
大宜味村立大宜味中学校	12月18日 (火)	1次募集	78		1	音楽	ピアノ	木内 佳苗
名護市立真喜屋小学校	12月11日 (火)	1次募集	86		1	音楽	声楽	大森 智子
名護市立稲田小学校	12月12日 (水)	1次募集	39		1	音楽	パーカッション	濱 真由美
名護市立大北小学校	6/27, 28, 29	1次募集	432		3	音楽	管楽器	新垣 菜々子
那覇市立曙小学校	11/1, 2	1次募集	588		2	音楽	その他	三宅 伸哉
那覇市立古蔵中学校	11/1, 2	1次募集	366		2	音楽	その他	三宅 伸哉
浦添市立当山小学校	6/6, 7	1次募集	187		2	音楽	その他	比嘉 祥人
浦添市立前田小学校	9/12, 13	1次募集	179		2	音楽	その他	江崎 浩司
浦添市立内間小学校	11/7, 8, 9	1次募集	206		3	音楽	管楽器	喜名 雅
浦添市立浦城小学校	11/14, 15	1次募集	166		2	音楽	その他	野尻 小矢佳
浦添市立神森小学校	12/5, 6	1次募集	144		2	音楽	声楽	乗松 恵美
南城市立玉城中学校	9月18日 (火)	1次募集	146		1	音楽	その他	瀧村 依里
南城市立知念中学校	9月19日 (水)	1次募集	39		1	音楽	その他	瀧村 依里
南城市立佐敷中学校	9月20日 (木)	1次募集	118		1	音楽	その他	瀧村 依里
南城市立大里中学校	9月21日 (金)	1次募集	163		1	音楽	その他	瀧村 依里
嘉手納町立嘉手納小学校	6/6, 7, 8	1次募集	318		3	演劇	現代劇	與那嶺 圭一
沖縄市立コザ小学校	6/12, 13, 14	1次募集	114		3	演劇	現代劇	島袋 寛之
沖縄市立室川小学校	6/26, 27, 28	1次募集	141		3	演劇	現代劇	與那嶺 圭一
沖縄市立諸見小学校	12/3, 13, 14	1次募集	282		3	演劇	現代劇	桃原 夏子
計28校			5,164		49			



名護市立大北小学校:音楽



本部町立上本部小学校:演劇



浦添市立内間小学校:音楽

③「文化芸術による子供の育成事業」(子供 夢・アート・アカデミー)

「日本芸術院会員」が、当該分野における講話、実技披露、実技指導等を実施する。

平成30年度

実施校なし

④「文化芸術による子供の育成事業」ーコミュニケーション能力向上事業<学校申請方式>

主管:義務教育課・県立学校教育課

実施:17校 1,748名

(2) 沖縄県提供事業

芸術鑑賞の機会の少ないへき地、離島等の児童生徒に、優れた舞台芸術を提供して生の芸術に触れる喜びを与えとともに表現活動の機会を確保することにより、児童生徒の芸術活動の機運の醸成と健全育成を図る目的で実施。

① 沖縄県こども青少年芸術劇場

平成30年度

開催場所	開催月日	備考	児童生徒数(人)	職員保護者数(人)	参加校	公演数	種目	公演団体
石垣市立 川平小学校	11月15日	(木)6校合同	155	50	6	1	金管 五重奏	琉球交響楽団
石垣市立 宮良小学校	11月16日	(金)2校合同	149	12	2	1		
国頭村立 佐手小学校	2月26日	(火)2校合同	12	36	2	1	バレエ	Company Dream Art
計3校			316	98	10	3		

琉球交響楽団の公演



石垣市立川平小学校



石垣市立宮良小学校

Company Dream Artの公演



国頭村立佐手小学校

2. 学校文化団体の育成・支援

本県中・高等学校における文化活動の統括をしている沖縄県高等学校文化連盟及び沖縄県中学校文化連盟を育成・支援し、学校における文化活動の活性化を図っている。

(1) 沖縄県高等学校文化連盟

平成30年度

① 第42回全国高等学校総合文化祭長野大会への生徒派遣

開催期間：平成30年8月7日(火)～8月11日(土)

開催場所：長野県内(17市町)

参加部門：17部門(パレード、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、マーチングバンド、郷土芸能、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、文芸、自然科学、ボランティア、工業)

本県参加生徒：362名

<主な成績>

弁論部門：普天間高校 池宮 花(2年)優秀賞

郷土芸能部門：八重山高校 優良賞

放送部門：アナウンス部門：那覇国際高校 久場 晴奈(3年)優秀賞

放送部門：アナウンス部門：具志川高校 砂川 桜渚(2年)審査員特別賞



パレード部門



書道部門



自然科学部門

② 第42回沖縄県高等学校総合文化祭

開催期間：平成30年9月19日(水)～11月18日(日)

開催場所：沖縄市民会館(総合開会式)他13会場

開催部門：20部門(総参加人数:4,512人、総合開会式参加者:400人)

③ 沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラムの実施

■派遣国【中華民国(台湾)】

派遣分野：美術・工芸、書道

派遣期間：平成30年11月5日(月)～11月9日(金)

交流校：台北市立第一女子高級中学、国立台湾師範大学附属高級中学

実技指導：台湾芸術大学(美術・工芸:水墨画)、淡江大学(書道:デジタル書法)

派遣人数：48人(生徒40人、引率8人)



県人会との交流



現地校との交流



台湾芸術大学(美術・工芸:水墨画)

■派遣国【ドイツ連邦共和国(ケルン)】

派遣分野：音楽
 派遣期間：平成30年11月18日(日)～11月24日(土)
 交流校：フンボルト・ギムナジウム・ケルン校
 派遣人数：19人(生徒14人、引率5人)



県人会との交流



現地校との交流



音楽セミナー(レッスン)

■派遣国【アメリカ(ハワイ)】

派遣分野：郷土芸能
 派遣期間：平成31年2月3日(日)～2月8日(金)
 交流校：カメハメハスクール、ハワイ大学マノア校
 派遣人数：22人(生徒16人、引率6人)



県人会との交流



現地校との交流

(2)沖縄県中学校文化連盟

平成30年度

①第18回全国中学校総合文化祭 長崎大会

期日 / 場所：平成30年8月24日(金)～25日(土) / アルカスSASEBO
 参加状況：舞台部門：中頭地区(読谷・古堅中学校)、八重山地区(石垣中学校)
 演劇部門：沖縄県立与勝緑が丘中学校 展示部門：書道作品10点、美術作品10点



読谷・古堅中「かぎやで風」



石垣中「豊漁の喜び」



与勝緑が丘中「まじめなBerry」

②第24回沖縄県中学校総合文化祭

「未来へ煌めけ 伝統文化 新たな時代が今始まる」のテーマの下、沖縄県中学校総合文化祭を開催した。

期日 / 場所：平成30年12月8日(土)～9日(日) / うるま市民芸術劇場、文化振興センター「ゆらてく」
 参加状況：舞台部門：954人 琉球舞踊、郷土芸能、合唱、吹奏楽、マーチング、リコーダー、演劇、バンド、ダンス等、34演目
 展示部門：2,220点(他府県：32点、県内生徒作品：2,570点)

③第24回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭

「せかいに ひとつ つながるあーと みんなで 花をさかせよう」のテーマの下、沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭を開催した。

期日 / 場所：平成30年8月14日(火)～19日(日) ちゃたんニライセンター内(ギャラリー北谷)
 参加状況：展示部門：生徒：約480名、作品数：約663点、参観者数：773人

第2節 文化財の保護

1 県文化財保護審議会 ※◎印は審議会長、○印は同代行を示す

(1) 県文化財保護審議会

〔任期：平成30年8月1日～令和2年7月31日〕

比嘉 悦子	那覇看護専門学校非常勤講師
◎津波 高志	琉球大学名誉教授
○宮里 正子	浦添市美術館長
豊見山 和行	琉球大学人文社会学部教授
田名 真之	沖縄県立博物館・美術館長
上原 静	沖縄国際大学教授
宮城 邦治	沖縄国際大学名誉教授
横田 昌嗣	琉球大学理学部教授
金城 純子	元県工芸指導所長
本永 清	元県立高等学校長

(2) 県文化財保護審議会専門委員

〔任期：平成30年8月1日～令和2年7月31日〕

第1 専門部会（有形文化財）

上江洲 安亨	沖縄美ら島財団首里城事業課副参事
麻生 伸一	沖縄県立芸術大学准教授
平良 啓	沖縄県建築士会会員
小林 純子	沖縄県立芸術大学教授
湊 信幸	元東京国立博物館副館長
清水 肇	琉球大学工学部教授

第2 専門部会（史跡・名勝・埋蔵文化財）

池田 榮史	琉球大学国際地域創造学部教授
波多野 想	琉球大学国際地域創造学部准教授
里井 洋一	琉球大学教育学部教授
外間 政明	那覇市歴史博物館学芸員
宮城 弘樹	沖縄国際大学総合文化学部講師
土肥 直美	元琉球大学准教授

第3 専門部会（天然記念物）

伊澤 雅子	琉球大学理学部長
田吹 亮一	琉球大学名誉教授
佐々木 健志	琉球大学教務職員
久保田 康裕	琉球大学理学部教授
谷口 真吾	琉球大学農学部教授
前門 晃	琉球大学名誉教授

第4 専門部会（無形文化財）

柳 悦州	沖縄県立芸術大学名誉教授
糸数 政次	沖縄県立芸術大学教授
上地 和夫	糸満市文化振興委員会
川前 和香子	元県立工芸技術支援センター室長
金城 厚	沖縄県立芸術大学教授

第5 専門部会（民俗文化財）

萩原 左人	琉球大学国際地域創造学部教授
久万田 晋	沖縄県立芸術大学教授
波平 エリ子	沖縄女子短期大学准教授
赤嶺 政信	琉球大学人文社会学部教授
波照間 永吉	沖縄県立芸術大学名誉教授
稲福 みき子	沖縄国際大学名誉教授

(3) 審議会の状況

【平成30年度】

① 沖縄県文化財保護審議会

日 時：平成30年12月28日（金） 14時～15時30分

場 所：県庁13階 第2会議室

内 容：諮問事項等に係る審議

1) 「元海底電線陸揚室（電信屋）」の指定について

② 沖縄県文化財保護審議会第3 専門部会

日 時：平成31年2月19日（火） 13時30分～15時

場 所：沖縄県立埋蔵文化財センター2階研修室

内 容：諮問事項にかかる答申案の審議、その他

1) 県天然記念物ミヤコカナヘビの指定について

2) 宮古馬の飼育に関する経過報告

③ 沖縄県文化財保護審議会

日 時：平成31年3月28日（木） 14時～16時

場 所：県庁13階第1会議室

内 容：諮問事項の審議

1) 「沖縄の空手・古武術」保持者の追加認定について

2) 「沖縄伝統音楽湛水流」保持者の追加認定について

3) 「琉球歌劇」保持者の追加認定について

答申案の審議

1) 平成19年9月4日付け諮問第4号「ミヤコカナヘビ」の指定について

2 文化財の指定

平成30年度に新たに指定、追加指定（追加認定）、選定、選択及び登録された文化財は、次のとおりである。

種 別	新規・追加	名 称	指 定 等 年 月 日
国指定国宝(建造物)	新規指定	玉陵	平成30年12月25日
国指定史跡	新規指定	弁之御嶽	平成30年10月15日
国指定史跡	追加指定	斎場御嶽	平成30年10月15日
国指定名勝	追加指定	アマミクヌムイ	平成30年10月15日
国選定重要文化的景観	新規選定	北大東島の燐鉱山由来の文化的景観	平成30年10月15日
県指定史跡	新規選定	田名城跡	平成30年5月8日
県指定無形文化財	保持者追加認定	沖縄伝統音楽野村流	平成30年5月8日
県指定無形文化財	保持者追加認定	沖縄伝統音楽安富祖流	平成30年5月8日
県指定無形文化財	保持者追加認定	沖縄伝統音楽箏曲	平成30年5月8日
県指定無形文化財	保持者追加認定	琉球漆器	平成30年5月8日

3 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業（事業主体：沖縄県）

事業目的：文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

事業内容：① 防災設備保守点検等指定文化財である建造物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準じる防災関係機器の保守点検等

② 指定文化財である建造物の維持管理のための小修理

③ 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア．名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定等

イ．指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

④ 文化財保護指導委員を30名委嘱し、県内に所在する国及び県指定文化財等について、年7回巡視にあたらせ、その状況を県教育委員会へ報告

事業実績：①～③

(単位：千円)

文化財の種別	名称	市町村	所有者	平成 30年度
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城村	中村 国宏	347
	上江洲家住	久米島町	上江洲 智一	470
	石垣氏庭園	石垣市	石垣 長敏	128
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156
合 計				1,101
事業費合計		国庫補助額		275
		県補助額		275
		市町村及び所有者負担額		550

事業実績：④

	平成 30 年度
国庫補助額	1,804
県補助額	1,808
計	3,612

4 戦災文化財の復元整備

首里には戦前まで数多くの国宝級の史跡や建造物等があり、特に琉球における木造建造物として、首里城正殿、北殿、南殿、円覚寺七堂伽藍等の建造物があった。琉球王国の政治・経済・文化の中心的役割を果たしてきた首里城や円覚寺等は、当時の土木建築技術の粋を集めて建設された沖縄における代表的な文化財である。

首里城城郭等の復元や円覚寺、その周辺の文化財を整備することによって、往時の景観を回復するとともに公園整備との整合性を確保する。

あわせて県民・国民の歴史的・文化的環境を拡充し、多方面の活用を図る。

首里城城郭等の復元整備事業は、昭和 47 年度に着手し、平成 13 年度までに整備が完了した。

平成 14 年度からは円覚寺跡の保存整備事業を実施しており、平成 35 年度を目処に三門復元を行い、歴史的・文化的整備をしていく予定である。

平成 30 年度は、前年度に引き続き三門復元に向けた実施設計の作成及び、実施設計に反映させるために三門周辺で土質調査（ボーリング調査）を実施した。

5 文化財愛護思想の普及

(1) 文化財保護行政事務担当者研修会

目的：各市町村の文化財保護担当者を対象にして、文化財保護行政の基本的な事項について研修を行うとともに、文化財保護行政に必要な情報を提供し、文化財保護行政に対する理解を深め、その円滑

な推進を図る。

日時：平成30年7月19日（木） 13時30分～16時30分

場所：南部合同庁舎4階 第1・第2会議室

内容：1 文化財保護行政について

① 文化財関係補助金に係る手続きについて

② 史跡の保存整備について

③ 天然記念物の現状変更等について

④ 「児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会」等について

⑤ 登録有形文化財の修理・現状変更について

⑥ 「沖縄の行事食調査」及び民俗文化財国庫補助事業について

⑦ 埋蔵文化財に係る手続きについて

⑧ 全国遺跡報告総覧について

2 奈良文化財研究所研修報告ならびに講演

① 研修報告：平成29年度文化財担当者専門研修

「遺跡情報記録調査課程」研修参加報告

② 講演：埋蔵文化財保護行政の現状と課題

(2) 文化財愛護事業

① 「私たちの文化財」図画作品募集

地域に所在する文化財を題材とした図画の制作過程をとおして、文化財への関心を喚起するとともに保護・愛護意識の高揚を図ることを目的に、5月～9月の期間、県内小・中・高・特別支援学校の児童・生徒から広く募集した。

慎重な審査の結果、最優秀賞、優秀賞、佳作、入選が選出され、入賞作品として県教育長から表彰された。

小学校の応募数

	小学校 1・2学年	小学校 3・4学年	小学校 5・6学年	合計 (小学校)
平成30年度	43点(14校)	45点(14校)	96点(20校)	184点(30校)

中学校・高等学校・特別支援学校の応募数

	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
平成30年度	143点(20校)	70点(8校)	4点(2校)	217点(28校)

賞作品数

	最優秀賞	優秀賞	佳作	入選	合計
平成30年度	5点	10点	25点	35点	75点

② 文化財愛護展示会（私たちの文化財」図画作品募集入賞作品を展示）

期 間：平成 30 年 10 月 29 日（月）～11 月 2 日（金）

場 所：県民ホール（県庁舎 1 階）

③ 「私たちの文化財」図画作品募集入賞者表彰式

日 時：平成 30 年 11 月 1 日（木）

場 所：県庁 4 階 講堂

④ 文化財保護強調週間ポスター

11 月 1 日～7 日の文化財保護強調週間の啓発のため、「私たちの文化財」図画作品の前年度最優秀作品より 2 作品を原画としてポスターを製作し、市町村教育委員会、学校、文化財関係施設などに配付した。

ポスター原画に使用した最優秀作品

	作品名	部門	氏名・学校名・学年
平成 30 年度 最優秀作品	「エイサー」	小学校 3・4 年	眞栄城 帝都さん 長田小学校 4 年
	「国指定重要文化財大 宜味村役場旧庁舎」	中学校	越野 花音さん 琉球大学附属中学校 1 年

6 文化財の調査

平成 30 年度に実施した文化財の調査は次のとおりである。

(1) 有形文化財

事業名	事業総額	事業内容
在外沖縄関連 文化財調査	896 千円 県単独事業	沖縄の歴史が日本他県のそれと異なる点は、独立した海洋国家として存在した経歴から、群を抜いて豊富な海外交流と海外活動を含んでいることである。琉球王国及び琉球人は、万国津梁の精神を旨とし、東アジア諸国で活躍した。本調査事業は、県外における琉球・沖縄の先人達の活動を把握し、琉球・沖縄史を補完するため県外にある歴史資料を調査するものである。

(2) 民俗文化財

事業名	事業総額	事業内容
沖縄の行事食に関する総合調査事業	3,262 千円 国庫補助事業 国 2,609 千円 県 653 千円	民俗学の専門家に調査を依頼し、沖縄の基層文化と深く結びついている行事食に関して食材や調理法、祭祀における取扱等の習俗について総合的な調査を実施した。調査地を沖縄本島北部・中部・南部及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、実地調査を行った。

(3) 天然記念物

事業名	事業総額	事業内容
国指定天然記念物緊急調査(トゲネズミ)	4,904 千円 国庫補助事業 国 3,923 千円 県 981 千円	トゲネズミの生態に詳しい専門家を調査員として委嘱し、生息状況を調査、具体的な保護策に向けての資料とすることを目的とする。平成 30 年度は、自動カメラ及び自動ビデオカメラによる撮影を行い調査員による映像解析を行い、行動をまとめた。

(4) 史跡等遺構調査

事業名	事業総額	事業内容
国指定史跡 「内間御殿」 遺構調査 (西原町)	総額： 9,695,534円 国： 7,756,000円 県： 208,000円 町： 1,731,534円	東殿を囲う石垣の西側外壁沿い及び南東側外壁沿いで発掘調査を実施した。
国指定名勝 「勝連城跡」 遺構調査 (うるま市)	総額： 15,886,201円 国： 12,708,000円 県： 338,000円 市： 2,840,201円	南風原御門付近の遺構調査を実施した。
国指定史跡 「中城城跡」 遺構調査 (中城村)	総額： 37,931,298円 国： 30,345,000円 県： 810,000円 村： 6,776,298円	一の郭内の北側城壁内面沿いで遺構確認を目的に発掘調査を実施した。
国指定史跡 「知念城跡」 遺構調査 (南城市)	総額： 11,299,030円 国： 9,039,000円 県： 241,000円 市： 2,019,030円	西側城壁の遺構確認調査を行った。

(5) 遺跡分布調査

事業名	事業総額	事業内容
遺跡詳細分布調査及び重要遺跡確認調査（文化庁国庫補助事業）	総額：355,424千円 国：272,878千円 県：29,293千円 市町村：53,253千円	埋蔵文化財の記録の作成又は保存に必要な資料を得るための発掘調査及び今後開発が予定されている地域、遺跡の整備事業に必要な確認調査及び詳細分布調査を実施した。

(6) 埋蔵文化財発掘調査

ア 民間（大学等）が実施する学術調査

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体・調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
1	金武鍾乳洞遺跡	金武町	沖縄国際大学 教授 上原 静	学術研究	グスク時代・ 集落跡

イ 地方公共団体が実施する開発に伴う緊急調査

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費（千円）	主な財源
1	長崎兼久 遺物散布地	名護市	名護市教育委員会	基地建設	発掘調査 資料整理	200,390	沖縄防衛局
2	億首川流域古墓群 (ミーチェ地区)	金武町	金武町教育委員会	国道バイ パス建設 事業	資料整理	2,955	沖縄総合事務 局北部国道事 務所
3	越来グスク	沖縄市	沖縄市教育委員会	個人住宅 建築	資料整理	10,068	文化庁
4	楚辺徳地原遺跡A 他1遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	駐留軍用 地における 陸軍関連 施設移設 事業	発掘調査	118,368	沖縄防衛局
5	平安山原A遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	桑江伊 平地区 原状回 復事業	資料整理	9,720	沖縄防衛局
6	渡口・和仁屋 近世墓群	北中城村	北中城村 教育委員会	道路建設	発掘調査	9,913	沖縄県
7	安室後ノ川原古墓群	西原町	西原町教育委員会	墓地造成	発掘調査	545	個人
8	赤道渡呂寒原 古墓群ほか	宜野湾市	宜野湾市 教育委員会	支障除去	発掘調査	77,488	沖縄防衛局
9	仲間遺跡	浦添市	浦添市教育委員会	個人住宅建 設	発掘調査 資料整理	1,092	個人
10	久茂地村跡	那覇市	那覇市教育委員会	その他建物	発掘調査 資料整理	33,760	那覇市
11	御細工所跡	那覇市	那覇市教育委員会	学校建設	資料整理	12,295	内閣府
12	末吉村跡	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査	39,954	国土交通省
13	フクヂ山古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	道路	資料整理	8,114	国土交通省
14	識名坂	那覇市	那覇市教育委員会	道路	発掘調査	3,969	国土交通省
15	首里旧金城村跡 ほか3遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	住宅	発掘調査 資料整理	10,126	個人

項目 No.	遺 跡 名	所在地	調 査 主 体	原 因		経費（千円）	主な財源
16	豊見城古島B遺跡ほか1遺跡	豊見城市	豊見城市教育委員会	工芸振興施設	発掘調査	23,198	沖縄県
17	平良原の壕	与那原町	与那原町教育委員会	バイパス工事	発掘調査	2,670	沖縄総合事務局南部国道事務所
18	大見武古島遺跡	与那原町	与那原町教育委員会	バイパス工事に伴う鉄塔移設工事	発掘調査	53,173	沖縄電力株式会社
19	ティラフグ遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	共同住宅	発掘調査 資料整理	2,455	(株)エミネンスエアー
20	保里遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	道路拡幅工事	発掘調査	9,877	沖縄県宮古土木事務所
21	イリノソコ第2古墓群	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	発掘調査	411	沖縄県宮古農林水産振興センター
22	長間巣玉川の避難豪・長間巣玉川の古墓・長間西更竹の岩陰墓・第2大牧古墓群・西原美里の古墓・第2西皆粉地の古墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	資料整理	3,956	沖縄県宮古農林水産振興センター
23	嘉手苺アガリノミ子の古墓・ウヅラ嶺の古墓・ウヅラ嶺の壕・第2西皆粉地の古墓群	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備工事	資料整理	534	沖縄県宮古農林水産振興センター
24	根間・西里遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	建物建設工事	発掘調査	1,176	個人
25	尻川遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	住宅建設	発掘調査	207	個人
26	登野城遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	ホテル建築	発掘調査 資料整理	2,150	WBFリゾート沖縄株式会社
27	登野城遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	個人兼共同住宅	発掘調査 資料整理	2,597	個人
28	川平大兼久古墓群	石垣市	石垣市教育委員会	保育所建設	発掘調査	6,396	石垣市
29	中城御殿跡（首里高校内）ほか3遺跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	学校建設	発掘調査 資料整理	141,727	沖縄県
30	鏡水原遺跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	道路	発掘調査	32,166	沖縄総合事務局
31	普天間石川原遺跡ほか2遺跡	宜野湾市	沖縄県立埋蔵文化財センター	住宅建設	発掘調査 資料整理	142,020	沖縄防衛局
32	大嶺村跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	空港建設	資料整理	2,898	大阪航空局
33	神山古集落	宜野湾市	沖縄県立埋蔵文化財センター	調整池設置	資料整理	19,770	沖縄防衛局

(7) 基地内埋蔵文化財調査

事業名	事業総額	事業内容
基地内埋蔵文化財詳細分布調査 (文化庁国庫補助事業)	総額：57,446千円 国：45,956千円 県：11,490千円	米軍基地内に所在する埋蔵文化財の範囲、性格及び内容等を確認するために、範囲確認調査を行った。

7 文化財保存整備

平成30年度に実施した文化財保存整備事業は次のとおりである。

(1) 無形文化財

① 伝承者養成事業

保持者が伝承者を対象に、実技指導等の研修会を実施し、伝承者の養成を行った。

1) 国・県指定無形文化財

平成30年度

[単位:円]

事業名	事業主体	事業総額	国庫補助	県補助	事業主体等
喜如嘉の芭蕉布伝承者養成	喜如嘉の芭蕉布保存会	7,588,000	7,000,000	151,000	1,088
宮古上布伝承者養成	宮古上布保持団体	8,535,000	8,000,000	170,000	114,000
久米島紬伝承者養成	久米島紬保持団体	8,236,000	8,000,000	164,000	8,000
組踊伝承者養成	伝統組踊保存会	12,198,703	12,000,000	134,000	64,703
琉球舞踊伝承者養成	琉球舞踊保存会	7,339,530	7,000,000	144,000	195,530
琉球歌劇伝承者養成	琉球歌劇保存会	1,217,333	-	648,000	569,333
読谷山花織伝承者養成	読谷山花織保存会	448,000	-	336,000	112,000
本場首里の織物伝承者養成	沖縄伝統本場首里織物保存会	351,000	-	259,000	92,394
八重山上布伝承者養成	八重山上布保存会	426,000	-	320,000	46,000
琉球漆器伝承者養成	琉球漆器保存会	144,000	-	108,000	36,000
沖縄伝統音楽野村流伝承者養成	野村流保存会	330,361	-	100,000	230,361
沖縄伝統音楽安富祖流伝承者養成	安富祖流保存会	300,634	-	100,000	200,634
沖縄伝統音楽箏曲伝承者養成	箏曲保存会	400,000	-	100,000	300,000
びん型伝承者養成	沖縄伝統びん型保存会	426,000	-	320,000	106,000

※事業総額は市町村補助及び個人負担分も含む。

2) 国選定保存技術

平成30年度

[単位:円]

事業名	事業主体	事業総額	国庫補助	県補助	事業主体等
手機製作技術練磨	大城 義政	1,287,000	1,106,000	-	181,000
苧麻系手績技術伝承者養成	宮古苧麻績み保存会	10,280,000	10,000,000	133,000	147,000
組踊道具・衣裳製作修理技術伝承者養成	組踊道具・衣裳製作修理技術保存会	7,204,921	7,000,000	94,000	110,921
結髪(沖縄伝統芸能)技術練磨	古波 藏 佐紀	1,472,634	1,106,000	69,000	297,634

3)記録作成等の措置を講ずべき無形文化財(芸能の部)

平成30年度

[単位:円]

事業名	事業主体	事業総額	国庫補助	県補助	事業主体等
琉球古典箏曲記録保存調査	琉球古典箏曲 記録保存調査会	2,002,536	1,982,000	9,000	11,536

② 公開事業

全国各地で無形文化財を鑑賞する機会を設け、その一層の普及・伝承を図った。

1)国・県指定無形文化財

平成30年度

[単位:円]

事業名	事業主体	事業総額	国庫補助	県補助	事業主体等
組踊特別鑑賞会	伝統組踊保存会	27,857,981	27,753,000	33,000	71,981

平成30年度

[単位:円]

事業名	事業主体	事業総額	県補助	市町村補助	事業主体等
第60回九州地区民俗芸能大会派遣事業	前川区伝統芸能保 存会(南城市)	925,500	462,000	0	463,500

(2) 民俗文化財

平成30年度

① 沖縄の行事食に関する総合調査事業(国庫補助事業)

事業総額:3,261,530円(国 2,609,000円、県 652,530円)

事業主体:沖縄県教育委員会

事業期間:平成30年4月1日~平成31年3月31日

事業目的:沖縄県全域を対象とした行事食や関連する習俗等の総合調査を行い、その実態の把握と各地域の状態、文化財的価値等を明らかにし、民俗文化財の保護・活用に向けた基礎資料を作成することを目的とする。

事業内容:民俗学の専門家に調査を依頼し、沖縄の基層文化と深く結びついている行事食に関して食材や調理法、祭祀における取扱等の習俗について総合的な調査を実施した。調査地を沖縄本島北部・中部・南部及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、実地調査を行った。

(3) 天然記念物

平成 30 年度

① 天然記念物緊急調査(国庫補助事業)

事業名：国指定天然記念物緊急調査(トゲネズミ)

事業総額：4,904 千円(国 3,923 千円、県 981 千円)

事業主体：沖縄県

事業期間：平成 30 年4月2日～平成 31 年3月 31 日

(平成 29 年度～平成 32 年度までの4年間継続事業)

事業目的：沖縄本島北部に生息する野生ネズミである。生態や個体数などについては、未だ不明な点が多く近年の目撃事例も非常に少ない。2008 年に再確認されるまで、絶滅すら危ぶまれた。ここ数年、マングース対策事業において、混獲される事例も生じており、今後具体的な保護策を講じる上でも、生息状況を把握するための緊急調査を実施する必要がある。

事業内容：(1)調査地 沖縄本島北部地域

(2)調査項目

a) 生息実態調査

b) 行動観察

天然記念物の現状変更等

- | | |
|---|--|
| 1) 【国天】米原のヤエヤマヤシ群落の現状変更(動物調査及び工作物設置について)協議
協議者(日付):環境省那覇自然環境事務所長
同意(期間):平成30年5月18日 付け 30受庁財第4号の157 | (H30.4.18 進達)
(H30.3.13)
(H30.5.18 ~ H30.7.31) |
| 2) 【県天】宮良川のヒルギ林の現状変更(一時的な底質の掘削)申請
申請者(日付):沖縄県環境科学センター
許可(期間):平成30年5月18日 付け 30受庁財第4号の241 | (H30.5.14 進達)
(H30.3.26)
(H30.5.18 ~ H30.6.30) |
| 3) 【国天】宮古・イタチ捕殺罟の現状変更(イタチ捕獲器設置)申請
申請者(日付):八千代エンジニアリング株式会社沖縄事務所所長阿川泰之
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の310 | (H30.5.17 進達)
(H30.4.13)
(H30.6.15 ~ R2.3.30) |
| 4) 【国天】ケラマジカの現状変更(工作物設置)申請
申請者(日付):八千代エンジニアリング株式会社沖縄事務所所長阿川泰之
許可(期間):平成30年5月14日 付け 沖縄県教育委員会指令第13号 | (H30.5.17 進達)
(H30.5.7)
(H30.5.21 ~ H30.10.30) |
| 5) 【国天】イボイモリ・クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)期変
期変者(日付):沖縄県土木建築部 南部土木事務所長 我那覇生雄
許可(期間):平成30年5月24日 付け 沖縄県教育委員会指令第16号 | (H30.5.24 許可)
(H30.5.10)
(H30.5.24 ~ R3.6.1) |
| 6) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請
申請者(日付):森トラスト株式会社代表取締役社長 伊達美和子
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の372 | (H30.5.23 進達)
(H30.5.21)
(H30.6.15 ~ R3.3.31) |
| 7) 【国天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請
申請者(日付):森トラスト株式会社代表取締役社長 伊達美和子
許可(期間):平成30年5月23日 付け 沖縄県教育委員会指令第15号 | (H30.5.23 許可)
(H30.5.21)
(H30.5.23 ~ R3.3.31) |
| 8) 【県天】イボイモリ・クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)期変
期変者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ピーター・グレース
許可(期間):平成30年5月24日 付け 沖縄県教育委員会指令第17号 | (H30.5.24 進達)
(H30.4.27)
(H30.5.24 ~ R3.5.23) |
| 9) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請
申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 ピーター・グレース
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の404 | (H30.5.24 進達)
(H30.4.27)
(H30.6.15 ~ R3.6.15) |
| 10) 【県天】オカヤドカリの現状変更(クマネズミ捕獲器設置)申請
申請者(日付):八千代エンジニアリング株式会社社内紀浩
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の405 | (H30.5.24 進達)
(H30.5.7)
(H30.6.15 ~ R1.10.30) |
| 11) 【国特】アカヒゲ他3種の現状変更(一時捕獲及び移動)申請
申請者(日付):電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之
許可(期間):平成30年6月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第27号 | (H30.5.24 進達)
(H30.5.21)
(H30.6.25 ~ H31.3.29) |
| 12) 【国天】ホルストガエル他3種の現状変更(一時捕獲及び移動)申請
申請者(日付):電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之
許可(期間):平成30年6月5日 付け 沖縄県教育委員会指令第20号 | (H30.6.5 許可)
(H30.5.21)
(H30.6.5 ~ H31.3.29) |
| 13) 【県天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)期変
期変者(日付):沖縄県南部土木事務所長 我那覇生雄
許可(期間):平成30年6月15日 付け 30受庁財第4号の425 | (H30.5.31 進達)
(H30.5.28)
(H30.6.15 ~ R3.7.17) |
| 14) 【県天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請
申請者(日付):沖縄県土木建築部 中部土木事務所長 真栄里嘉孝
許可(期間):平成30年8月14日 付け 30受庁財第4号の590 | (H30.6.20 進達)
(H30.6.4)
(H30.7.20 ~ R3.7.20) |
| 15) 【県天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(チ保存のため必要な試験材料の採取)申請
申請者(日付):一般財団法人沖縄県環境科学センター
許可(期間):平成30年6月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第22号 | (H30.6.20 進達)
(H30.5.30)
(H30.6.20 ~ R3.6.20) |
| 16) 【国天】クロイトカゲモドキの現状変更(捕獲及び試料採取)計変
計変者(日付):環境省那覇自然環境事務所長
許可(期間):平成30年6月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第23号 | (H30.6.18 許可)
(H30.4.24)
(H30.6.18 ~ H31.3.31) |
| 17) 【国天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び試料採取)期変
期変者(日付):千葉県立中央博物館研究員 栗田隆久
許可(期間):平成30年6月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第24号 | (R2.5.18 許可)
(H30.5.18)
(H30.6.18 ~ R2.5.18) |

- 18) 【国天】南大東島東海岸植物群落の現状変更()申請 (H30.6.21 進達)
申請者(日付):南大東村長 仲田建匠 (H30.6.15)
許可(期間):平成30年7月20日 付け 30受庁財第4号の628 (H30.8.14 ~ R2.12.31)
- 19) 【県天】万座毛石灰岩植物群落の現状変更(売店一帯の整備、第一駐車場の一部延長整備、第2駐車場へのアクセス道路整備)申請 (H30.6.25 許可)
申請者(日付):恩納村長 長濱善巳 (H30.3.19)
許可(期間):平成30年6月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第25号 (H30.6.25 ~ R3.3.31)
- 20) 【国天】ヨナグニサンの現状変更(譲渡・展示)申請 (H30.6.25 許可)
申請者(日付):石川県ふれあい昆虫館 (H30.5.28)
許可(期間):平成30年6月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第26号 (H30.6.25 ~ H30.10.8)
- 21) 【県天】アカヒゲ他3種の現状変更(調査による一時捕獲)申請 (H30.6.25 許可)
申請者(日付):電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之 (H30.5.21)
許可(期間):平成30年6月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第27号 (H30.6.25 ~ H31.3.29)
- 22) 【県天】ヨナグニサンの現状変更(一時捕獲及び飼育展示)申請 (H30.6.25 許可)
申請者(日付):与那国町教育委員会 教育長職務代理者 尾辻美佐恵 (H30.5.18)
許可(期間):平成30年6月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第28号 (H30.6.25 ~ H30.3.31)
- 23) 【国天】南大東島東海岸植物群落の現状変更(工作物設置)計変 (H30.6.26 許可)
計変者(日付):南大東村長 仲田建匠 (H30.6.12)
許可(期間):平成30年6月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第29号 (H30.6.26 ~ H30.8.31)
- 24) 【国天】クロイワカゲモドキの現状変更(作業員の追加(一時捕獲及び標本採集))計変 (H30.7.12 許可)
計変者(日付):琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 戸田守 (H30.7.10)
許可(期間):平成30年7月12日 付け 沖縄県教育委員会指令第30号 (H30.7.12 ~ R1.9.28)
- 25) 【県天】仲の神島海鳥繁殖地の現状変更(モニタリング調査)申請 (H30.7.13 許可)
申請者(日付):東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (H30.6.21)
許可(期間):平成30年7月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第31号 (H30.7.13 ~ R3.3.31)
- 26) 【県天】仲の神島海鳥繁殖地の現状変更(ペグ・杭の設置及び小型機器の装着等)申請 (H30.7.17 進達)
申請者(日付):東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (H30.6.21)
許可(期間):平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の752 (H30.9.21 ~ H31.3.31)
- 27) 【国天】クロイワカゲモドキの現状変更(捕獲及び飼育)申請 (H30.7.13 許可)
申請者(日付):一般財団法人沖縄美ら島財団理事長 花城良廣 (H30.6.28)
許可(期間):平成30年7月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第32号 (H30.7.13 ~ R3.6.30)
- 28) 【国天】与那覇岳天然保護区域の現状変更(蘚苔類の試料採取)申請 (H30.7.19 許可)
申請者(日付):広島大学大学院理学研究科教授 山口富美男 (H30.6.29)
許可(期間):平成30年7月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第34号 (H30.7.19 ~ H31.3.31)
- 29) 【県天】仲間川天然保護区域の現状変更(蘚苔類の試料採取)申請 (H30.7.19 許可)
申請者(日付):広島大学大学院理学研究科教授 山口富美男 (H30.6.29)
許可(期間):平成30年7月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第35号 (H30.7.19 ~ H31.3.31)
- 30) 【国特】字根の大ソテツの現状変更(樹状回復)申請 (H30.7.20 許可)
申請者(日付):久米島町長 大田治雄 (H30.7.13)
許可(期間):平成30年7月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第36号 (H30.7.20 ~ H30.11.30)
- 31) 【国天】ミヤコサワガニの現状変更(一時捕獲及び調査)申請 (H30.9.25 許可)
申請者(日付):京都大学大学院理学研究科 (H30.7.7)
許可(期間):平成30年7月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第39号 (H30.9.25 ~ H30.9.29)
- 32) 【県天】ヤンバルクイナの現状変更(野生復帰試験)協議 (H30.8.7 進達)
協議者(日付):環境省那覇自然環境事務所長 (H30.2.5)
許可(期間):平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の830 (H30.9.21 ~ R3.3.31)
- 33) 【国天】ケラマジカ及びその生息地の現状変更(工作物(自動撮影カメラ)設置)申請 (H30.8.10 許可)
申請者(日付):一般財団法人沖縄県環境科学センター (H30.7.25)
許可(期間):平成30年8月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第40号 (H30.8.10 ~ H30.11.30)
- 34) 【国天】カンムリワシの現状変更(発信器装着)申請 (H30.8.10 許可)
申請者(日付):東海大学沖縄地域研究センター 河野裕美 (H30.7.24)
許可(期間):平成30年8月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第42号 (H30.8.10 ~ H31.3.31)
- 35) 【国天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(植物の標識及び試料採取、土壌採取)申請 (H30.8.20 許可)
申請者(日付):国立沖縄高等専門学校 渡辺謙太 (H30.8.3)
許可(期間):平成30年8月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第43号 (H30.8.20 ~ R3.3.31)

- 36) 【県天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.8.27 進達)
 申請者(日付): 沖縄県土木建築部宮古土木事務所長 平良勝一 (H30.8.7)
 許可(期間): 平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の1014 (H30.9.21 ~ R2.3.31)
- 37) 【県天】オカヤドカリの現状変更(調査のための採取)申請 (H30.8.27 進達)
 申請者(日付): 沖縄県環境部長 大浜浩志 (H30.8.22)
 許可(期間): 平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の1034 (H30.9.21 ~ H31.3.31)
- 38) 【県天】クロイワトカゲモドキの現状変更(捕獲及び標識)申請 (H30.9.10 許可)
 申請者(日付): 那覇自然環境事務所長 東岡礼治 (H30.8.29)
 許可(期間): 平成30年9月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第45号 (H30.9.10 ~ H31.3.31)
- 39) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(特定外来植物の除去)申請 (H30.9.7 進達)
 申請者(日付): 東村教育委員会教育長 比嘉一之 (H30.9.4)
 許可(期間): 平成30年9月21日 付け 30受庁財第4号の1040 (H30.9.21 ~ R3.3.31)
- 40) 【国特】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び生息状況調査)申請 (H30.9.11 許可)
 申請者(日付): 千葉大学海洋バイオシステム研究センター准教授 菊地友則 (H30.8.21)
 許可(期間): 平成30年9月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第46号 (H30.9.11 ~ R1.9.30)
- 41) 【県天】ミヤコサワガニの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.9.25 許可)
 申請者(日付): 沖縄県農林水産部宮古農林水産振興センター (H30.3.22)
 許可(期間): 平成30年9月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第48号 (H30.9.25 ~ H31.3.31)
- 42) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H30.9.21 許可)
 申請者(日付): 八千代エンジニアリング株式会社 (H30.9.12)
 許可(期間): 平成30年10月19日 付け 30文庁第81 (H30.10.19 ~ R2.3.31)
- 43) 【国天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(仮設レーダー設置)期変 (H30.9.25 許可)
 期変者(日付): 国土交通省 大阪航空局長 川勝弘彦 (H30.9.11)
 許可(期間): 平成30年9月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第51号 (H30.9.25 ~ H30.9.30)
- 44) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H30.9.28 進達)
 申請者(日付): 環境サイエンス株式会社 伊敷かほ (H30.9.21)
 許可(期間): 平成30年9月28日 付け 30受文庁第4号の105 (H30.10.19 ~ H30.11.9)
- 45) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H30.10.10 許可)
 申請者(日付): 京都産業大学総合生命科学部専任教授 高橋純一 (H30.9.18)
 許可(期間): 平成30年10月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第52号 (H30.10.10 ~ H31.3.31)
- 46) 【国天】フタオチョウの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.10.10 許可)
 申請者(日付): 沖縄防衛局長 中嶋浩一郎 (H30.9.27)
 許可(期間): 平成30年10月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第53号 (H30.10.10 ~ H31.3.31)
- 47) 【県天】セマルハコガメの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H30.10.11 許可)
 申請者(日付): 京都産業大学総合生命科学部専任教授 高橋純一 (H30.9.18)
 許可(期間): 平成30年10月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第54号 (H30.10.11 ~ H31.3.31)
- 48) 【国特】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(水路掘削等)申請 (H30.10.23 許可)
 申請者(日付): 沖縄県知事 玉城康裕(県環境部環境再生課) (H30.10.12)
 許可(期間): 平成30年12月20日 付け 30受庁財第4号の240 (H30.12.20 ~ R4.3.31)
- 49) 【県天】与那国町久部良岳天然保護区域の現状変更(発電機等の設置)申請 (H30.10.26 許可)
 申請者(日付): 日本放送協会 沖縄放送局長 傍田賢治 (H30.10.11)
 許可(期間): 平成30年10月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第59号 (H30.10.26 ~ H31.3.31)
- 50) 【県天】宮良川のヒルギ林の現状変更(橋梁工事)申請 (H30.10.26 進達)
 申請者(日付): 八重山土木事務所 所長 勢理客 武 (H30.10.25)
 許可(期間): 平成30年11月16日 付け 30受文庁第4号の197 (H30.11.16 ~ R3.3.31)
- 51) 【県天】イリオモテヤマネコの現状変更(一時捕獲、試料採取、発信器装着)申請 (H30.10.25 進達)
 申請者(日付): 環境省那覇自然環境事務所長 (H30.10.17)
 許可(期間): 平成30年11月16日 付け 30受文庁第4号の195 (H30.11.16 ~ R3.3.31)
- 52) 【県天】イボイモリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.11.2 許可)
 申請者(日付): 一般財団法人沖縄環境科学センター (H30.10.4)
 許可(期間): 平成30年11月2日 付け 沖縄県教育委員会指令第60号 (H30.11.2 ~ H31.11.30)
- 53) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(アサギマダラ調査)申請 (H30.11.12 許可)
 申請者(日付): 名護博物館 村田尚史 (H30.10.26)
 許可(期間): 平成30年11月12日 付け 沖縄県教育委員会指令第61号 (H30.11.12 ~ H30.12.31)

- 54) 【国天】宮良川のヒルギ林の現状変更(橋梁工事)期変 (H30.11.22 許可)
 期変者(日付):八重山土木事務所 所長 勢理客 武 (H30.11.6)
 許可(期間):平成30年12月20日 付け 30受文庁第4号の293 (H30.12.20 ~ R2.3.31)
- 55) 【県天】リュウキュウヤマガメの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H30.11.29 許可)
 申請者(日付):京都産業大学総合生命科学部准教授 高橋純一 (H30.10.25)
 許可(期間):平成30年11月29日 付け 沖縄県教育委員会指令第63号 (H30.11.29 ~ H31.3.31)
- 56) 【県天】仲間川天然保護区域の現状変更(ビデオカメラの設置等)申請 (H30.12.10 許可)
 申請者(日付):大阪大学 国際共創大学院学位プログラム 瀧上ゆかり (H30.11.28)
 許可(期間):平成30年12月10日 付け 沖縄県教育委員会指令第64号 (H30.12.10 ~ H31.3.31)
- 57) 【国天】首里金城の大アカギの現状変更(土壌改良に伴う掘削)申請 (H30.12.11 進達)
 申請者(日付):那覇市長 城間幹子 (H30.12.6)
 許可(期間):平成31年1月18日 付け 30受文庁第4号の358 (H31.1.18 ~ H31.3.31)
- 58) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H30.12.14 進達)
 申請者(日付):沖縄県北部土木事務所長 多嘉良斉 (H30.12.7)
 許可(期間):平成31年1月18日 付け 30受文庁第4号の455 (H30.1.18 ~ R3.3.31)
- 59) 【県天】田港御願の植物群落の現状変更(境界標識設置)申請 (H30.12.19 許可)
 申請者(日付):大宜味村長 宮城功光 (H30.12.6)
 許可(期間):平成30年12月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第65号 (H30.12.19 ~ H31.3.31)
- 60) 【国特】ヤンバルテナガコガネの現状変更(生息状況調査及び組織採取等)申請 (H30.12.25 進達)
 申請者(日付):環境省那覇自然環境事務所長 東岡礼治 (H30.12.14)
 許可(期間):平成31年1月18日 付け 30受文庁第4号の548 (H31.1.18 ~ R4.3.31)
- 61) 【県天】オカヤドカリの現状変更(採取)申請 (H31.1.21 進達)
 申請者(日付):沖縄オカヤドカリ取扱商組合 組合長 新垣昭 (H31.1.16)
 許可(期間):平成31年2月8日 付け 30受文庁第4号の662 (H31.2.8 ~ R1.9.30)
- 62) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H31.2.5 進達)
 申請者(日付):ウェブクルーリアルエステイト株式会社代表取締役 河野 雅哉 (H31.1.25)
 許可(期間):平成31年3月18日 付け 30受文庁第4号の702 (H31.3.18 ~ R4.3.31)
- 63) 【国天】イボイモリ、クロイワタカゲモドキ、フタオチョウの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H31.2.4 進達)
 申請者(日付):ウェブクルーリアルエステイト株式会社代表取締役 河野 雅哉 (H31.1.25)
 許可(期間):平成31年2月4日 付け 沖縄県教育委員会指令第5号 (H31.2.4 ~ R4.3.31)
- 64) 【国天】南大東島東海岸植物群落の現状変更(工作物設置)申請 (H31.2.15 進達)
 申請者(日付):南大東村長 仲田建匠 (H31.2.8)
 許可(期間):平成31年3月18日 付け 30受文庁第4号の813 (H31.3.18 ~ R3.3.31)
- 65) 【国天】オカヤドカリ他2種の現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (H31.2.25 進達)
 協議者(日付):沖縄防衛局長 中嶋浩一郎 (R1.12.28)
 許可(期間):平成31年3月18日 付け 30受文庁第4号の904 (H31.3.18 ~ R3.3.31)
- 66) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (H31.2.25 進達)
 申請者(日付):株式会社イーエーシー代表取締役大石哲也 (H31.2.4)
 許可(期間):平成31年3月18日 付け 30受文庁第4号の903 (H31.3.18 ~ R4.2.31)
- 67) 【国特】アサヒナキマダラセセリの現状変更(採取)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):東京大学総合研究博物館教授 矢後勝也 (H31.2.12)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第11号 (H31.3.11 ~ R2.3.31)
- 68) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):名護博物館館長 仲田宏 (H30.6.20)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第12号 (H31.3.11 ~ 個体滅失)
- 69) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):名護博物館館長 仲田宏 (H30.9.5)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第13号 (H31.3.11 ~ 個体滅失)
- 70) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):名護自然動植物公園株式会社 代表取締役社長 宮里好一 (H30.11.27)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第14号 (H31.3.11 ~ 個体滅失)
- 71) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請 (H31.3.11 許可)
 申請者(日付):名護自然動植物公園株式会社 代表取締役社長 宮里好一 (H31.1.18)
 許可(期間):平成31年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第15号 (H31.3.11 ~ 個体滅失)

- 72) 【国天】セマルハコガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請
 申請者(日付): 沖縄県立知念高等学校 校長 津覇古廣和 (H31.3.15 許可)
 許可(期間): 平成31年3月15日 付け 沖縄県教育委員会指令第16号 (H30.8.17)
 (H31.3.15 ~ 個体滅失)
- 73) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(毎木調査)協議
 協議者(日付): 沖縄森林管理署長 宮俊輔 (H31.3.19 進達)
 同意(期間): 平成31年4月19日 付け 30受文庁第4号の1102 (H31.2.27)
 (H31.4.19 ~ R4.4.18)
- 74) 【国天】アカヒゲ他3種の現状変更(一時捕獲及び調査)申請
 申請者(日付): 電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之 (H31.3.19 許可)
 許可(期間): 平成31年3月19日 付け 沖縄県教育委員会指令第17号 (H31.2.27)
 (H31.3.19 ~ R4.7.31)
- 75) 【国天】ホルストガエル他3種の現状変更(一時捕獲及び調査)申請
 申請者(日付): 電源開発株式会社沖縄海水揚水事務所長 奥寺浩之 (H31.3.22 許可)
 許可(期間): 平成31年3月22日 付け 沖縄県教育委員会指令第18号 (H31.2.27)
 (H31.3.22 ~ R4.7.31)
- 76) 【国天】イボイモリの現状変更(試料採取)申請
 申請者(日付): 琉球大学教育学部 准教授 富永篤 (H31.3.25 許可)
 許可(期間): 平成31年3月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第19号 (H31.3.15)
 (H31.3.25 ~ R4.3.31)
- 77) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(動植物等採取)申請
 申請者(日付): 一般財団法人沖縄環境科学センター代表理事 比嘉悟 (H31.3.29 進達)
 許可(期間): 令和元年4月19日 付け 31受文庁第4号の28 (H31.3.18)
 (H31.4.19 ~ R4.6.30)
- 78) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(動植物等採取)申請
 申請者(日付): 一般財団法人沖縄環境科学センター代表理事 比嘉悟 (H31.3.29 進達)
 許可(期間): 令和元年5月27日 付け 31受文庁第4号の29 (H31.3.18)
 (H31.4.19 ~ R4.6.30)
- 79) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(永年飼養・教育普及)申請
 申請者(日付): 宜野湾市教育委員会教育長 知念春美 (H31.3.29 許可)
 許可(期間): 平成31年3月29日 付け 沖縄県教育委員会指令第20号 (H30.9.13)
 (H31.3.29 ~ 個体滅失)

(4) 建造物

①重文 新垣家住宅主屋ほか3棟 建造物保存修理(公開活用)(那覇市)

事業種別:国庫補助事業

事業主体:新垣和子ほか5名

事業目的:重要文化財の適正な保存

事業内容:経年劣化による主屋、作業場、離れ等の保存修理

	平成 30 年度(千円)
所有者負担	0
市補助額	3,197
県補助額	3,197
国庫補助額	25,578
合計	31,972

②重文 新垣家住宅主屋ほか3棟 防災・耐震対策重点強化(那覇市)

事業種別:国庫補助事業

事業主体:新垣和子ほか5名

事業目的:重要文化財の適正な保存

事業内容:火災防止および火災抑制のための防災設備

	平成 30 年度(千円)
所有者負担	4
市補助額	726
県補助額	724
国庫補助額	5,799
合計	7,253

③国選定 竹富町竹富島重要伝統的建造物群基盤強化事業(竹富町)

事業種別:国庫補助事業

事業主体:竹富町

事業目的:伝統的建造物群の適正な保存

事業内容:経年劣化による、屋根、外壁等の保存修理

	平成 30 年度(千円)
町補助額	1,198
県補助額	978
国庫補助額	8,701
合計	10,877

8 記念物

(1) 史跡・名勝、文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び県指定の史跡・名勝の件数は合計124件（令和元年5月1日現在）である。新規としては、平成30年10月15日に「北大東島燐鉱山由来の文化的景観」が、県内で初めて国の重要文化的景観に選定された。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。平成30年度は、国指定史跡「勝連城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「フルスト原遺跡」、「中城城跡」、「具志川城跡」（久米島町）、「浦添城跡」、「知念城跡」、「内間御殿」、「糸数城跡」、「円覚寺跡」、「中城城跡」（災害復旧）、「今帰仁城跡附シイナ城跡」（災害復旧）、及び特別名勝「識名園」及び名勝「伊江殿内庭園」において歴史活き活き史跡等総合整備活用整備事業を実施した。また、史跡等買上事業（直接買上）では、国指定史跡の「勝連城跡」、「大和井」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、「中城ハンタ道」、「佐敷城跡」にて実施し、国指定名勝「伊江御殿別邸庭園」、国指定史跡「伊礼原遺跡」については買上事業の先行取得償還を実施した。国指定史跡の「北大東島燐鉱山遺跡」、「糸数城跡」、「座喜味城跡」、「具志川城跡」（久米島町）、及び国指定名勝の「川平湾及び於茂登岳」において史跡等保存活用計画策定事業をそれぞれ実施した。県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」において首里金城町石畳道保存修理事業を、県指定史跡「ミントングスク」において県指定文化財管理事業を実施した。

①受託事業

ア) 発掘調査事業 「首里城跡」発掘調査業務

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、平成29年度に首里城地区発掘関連資料整理及び報告書作成業務をおこない、発掘調査事業をいったんは完了したが、美福門磴道付近で遺構が確認されたため発掘調査を行った。

事業主体：沖縄県

事業費：平成30年度 1,083,000円

②国庫補助事業

【平成30年度】

ア) 史跡等保存活用計画策定事業

a) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：北大東村

事業経費：6,667,020円（国4,284,000円、県91,000、村2,292,020円）

事業内容：○報告書を作成した。

◇燐鉱山遺跡保存活用計画策定委員会

1)平成30年5月13日（北大東村役場2階会議室）

2)平成30年8月28日（国建会議室）

- 3)平成30年12月13日（国建会議室）
- 4)平成31年3月6日（国建会議室）
- b) 事業名：史跡「糸数城跡」史跡等保存活用計画策定事業
 事業主体：南城市
 事業経費：1,824,999円（国1,459,000円、県31,000、市334,999円）
 事業内容：○中間報告を作成した。
- ◇糸数城跡保存活用計画策定委員会
- 1)平成30年10月22日（南城市役所）
- 2)平成31年3月19日（南城市役所）
- c) 事業名：史跡「座喜味城跡」史跡等保存活用計画策定事業
 事業主体：読谷村
 事業経費：1,834,080円（国1,467,000円、県31,000、村336,080円）
 事業内容：○中間報告を作成した。
- ◇座喜味城跡保存活用計画策定委員会
- 1)平成30年12月25日（読谷村教育委員会）
- 2)平成31年3月9日（読谷村教育委員会）
- d) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等保存活用計画策定事業
 事業主体：久米島町
 事業経費：2,138,836円（国1,711,000円、県36,000、市391,836円）
 事業内容：○中間報告を作成した。
- ◇具志川城跡保存活用計画策定委員会
- 1)平成30年12月28日（国建事務所）
- 2)平成31年2月28日（久米島町教育委員会）
- イ) 歴史活き活き史跡等総合活用整備事業
- a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
 事業主体：うるま市
 事業経費：15,886,201円（国12,708,000円、県338,000円、市2,840,201円）
 事業内容：○南風原御門付近の遺構調査を実施した。
 ○西原御門付近の整備、石畳道の舗装工事等に係る実施計画を委託により実施した。
- ◇勝連城跡整備委員会
- 1)平成31年2月4日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）
- 2)平成31年2月18日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）
- 3)平成31年3月18日（うるま市役所・史跡「勝連城跡」）
- b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
 事業主体：今帰仁村
 事業経費：37,344,737円（国29,872,000円、県798,000円、村6,674,737円）
 事業内容：○志慶真門郭階段設置工事を請負で、基本設計及び施工監理は委託により実施した。

○保存修理事業の成果公開のための整理作業を実施した。

◇今帰仁城附シイナ城跡整備委員会

- 1)平成30年7月26日（今帰仁村歴史文化センター・史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」）
- 2)平成31年3月27日（今帰仁村歴史文化センター・史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」）

c) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：石垣市

事業経費：10,968,573円（国8,774,000円、県234,000円、市1,960,573円）

事業内容：○第4号及び5号石塁の石積測量と図化を実施した。

○出土資料のうち、陶磁器・土器・獣魚骨の整理をした。

骨製品の実測、デジタル図化を委託により実施した。

d) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：中城村

事業経費：37,931,298円（国30,345,000円、県810,000円、村6,776,298円）

事業内容：○一の郭内の北側城壁内面沿いで遺構確認を目的に発掘調査を実施した。

○城壁解体中に下段石積の内部から発見された城壁等をレーザー及び写真測量を行った。

○一の郭北側城壁の上段石積と下段石積の一部の解体積み直しを行った。

◇中城城跡整備委員会

1)平成30年8月15日（中城城跡内事務所2階会議室・史跡「中城城跡」）

2)平成31年1月15日（中城城跡内事務所2階会議室・史跡「中城城跡」）

e) 事業名：史跡「具志川城跡（久米島町）」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：久米島町

事業経費：14,634,982円（国11,707,000円、県205,000円、町2,722,982円）

事業内容：○崩落した三の郭の石材を除去し、積み直しに備えて除去した石材を三の郭内に集積した。

○石積の積み直しに備えて場外に集積していた石を城内に移動した。

○城門前の会談以降の解説板を1基設置した。

◇具志川城跡整備委員会

1)平成30年10月24日（久米島町博物館講堂・史跡「具志川城跡」）

2)平成31年2月27日（久米島町博物館講堂・史跡「具志川城跡」）

f) 事業名：史跡「浦添城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：浦添市

事業経費：15,848,885円（国12,677,000円、県338,000円、市2,833,885円）

事業内容：○整備基本計画の改定を行った。

○城壁のレーザー測量及び図化を実施した。

◇浦添城跡整備委員会

- 1)平成30年12月26日（浦添市役所・史跡「浦添城跡」）
 2)平成31年2月19日（浦添市役所・史跡「浦添城跡」）
- g) 事業名：史跡「知念城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
 事業主体：南城市
 事業経費：11,299,030円（国9,039,000円、県241,000円、市2,019,030円）
 事業内容：○西側城壁の遺構確認調査を行った。
 ○西側城壁の解体積み直しを行った。
- ◇知念城跡整備委員会
 1)平成30年12月4日（南城市役所・史跡「知念城跡」）
 2)平成31年3月27日（南城市役所・史跡「知念城跡」）
- h) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
 事業主体：西原町
 事業経費：9,695,534円（国7,756,000円、県208,000円、町1,731,534円）
 事業内容：○東殿を囲う石垣の西側外壁沿い及び南東側外壁沿いで発掘調査を実施した。
- ◇内間御殿整備委員会
 1)平成31年3月29日（西原町立図書館・史跡「内間御殿」）
- i) 事業名：特別名勝「識名園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
 事業主体：那覇市
 事業経費：4,201,200円（国3,360,000円、県90,000円、市751,200円）
 事業内容：○指定地内の心字池周辺で膨らみのある石積の解体積み直し及び石積の膨らみの原因となる樹木の伐根を実施した。
- j) 事業名：名勝「伊江殿内庭園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
 事業主体：那覇市
 事業経費：9,416,960円（国7,533,000円、県201,000円、市1,682,960円）
 事業内容：○庭園の主庭部の陽刻文字の保存処理業務を実施した。
- ◇伊江殿内庭園現場検討会及び整備委員会
 1)平成31年1月30日（首里公民館・名勝「伊江殿内庭園」）
 2)平成31年3月25日（首里公民館・名勝「伊江殿内庭園」）
- k) 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
 事業主体：北大東村
 事業経費：23,637,430円
 （国9,849,000円、県263,000円、村13,525,430円）
 事業内容：○整備基本計画の中間報告書を作成した。
 ○燐鉱石貯蔵庫の南側壁のレーザー測量を実施した。
- ◇北大東島燐鉱山遺跡整備委員会
 1)平成30年5月15日（北大東村役場・史跡「北大東島燐鉱山遺跡」）
 2)平成30年8月28日（株式会社国建事務所会議室）
 3)平成30年12月14日（株式会社国建事務所会議室）
 4)平成31年3月6日（国建事務所会議室）

- l) 事業名：史跡「糸数城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：南城市
事業経費：4,593,454円（国3,674,000円、県97,000円、市822,454円）
事業内容：○正面南側城壁石積の積み直しを行った。

◇糸数城跡整備委員会

- 1)平成30年9月27日（南城市役所・史跡「糸数城跡」）
2)平成30年11月20日（南城市役所会議室）
3)平成31年3月14日（南城市役所会議室）

- m) 事業名：史跡「大山貝塚」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：宜野湾市
事業経費：5,724,000円（国4,579,000円、県121,000円、市1,024,000円）
事業内容：○指定地外の民有地にあった標識及び説明板を指定地内に移設した。

○史跡の境界標を設置した。

- n) 事業名：史跡「円覚寺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：沖縄県
事業経費：13,844,540円（国11,075,000円、県2,769,540円）
事業内容：○三門復元に向けて業務委託により実施設計の作成を行った。

○三門周辺で土質調査（ボーリング調査）を実施した。

◇史跡「円覚寺跡」復元整備委員会

- 1)平成30年9月13・14日（株式会社国建会議室）
2)平成30年11月16・17日（株式会社国建9階会議室）
3)平成31年3月20日（株式会社国建9階会議室）

- o) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
（災害復旧）

事業主体：中城村

事業経費：34,567,250円（国29,382,000円、県738,000円、村4,447,250円）

事業内容：○工事予定範囲で事前に発掘調査を実施した上で地滑り対策工事と工事の実施設計を行った。

- p) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業（災害復旧）

事業主体：今帰仁村

事業経費：8,040,600円（国6,834,000円、県0円、村1,206,600円）

事業内容：○台風により志慶真門郭に崩れ落ちた崩落石の撤去及び石材の分別を実施した。

ウ) 史跡等の土地買上げ事業

- a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

事業主体：うるま市

事業経費：22,772,510円（国18,218,000円、県357,000円、市4,197,510円）

買上げ実績：2,310.00㎡ 8筆

- b) 事業名：史跡「大和井」史跡等買上げ（直接買上げ）事業

- 事業主体：宮古島市
 事業経費：4,831,960円（国3,865,000円、県75,000円、市891,960円）
 買上げ実績：237.46㎡ 2筆
- c) 事業名：史跡「中城ハンタ道」史跡等買上げ（直接買上げ）事業
 事業主体：中城村
 事業経費：3,883,940円（国3,107,000円、県60,000円、市716,940円）
 買上げ実績：325.00㎡ 3筆
- d) 事業名：史跡「佐敷城跡」史跡等買上げ（直接買上げ）事業
 事業主体：南城市
 事業経費：3,850,298円（国3,080,000円、県59,000円、市711,298円）
 買上げ実績：736.00㎡ 2筆
- e) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」史跡等買上げ（直接買上げ）事業
 事業主体：浦添市
 事業経費：16,244,429円（国12,995,000円、県254,000円、市2,995,429円）
 買上げ実績：488.05㎡ 1筆
- f) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業
 事業主体：那覇市
 事業経費：97,761,000円
 （国78,208,000円、県1,445,000円、市18,108,000円）
 買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。
- g) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等買上げ（先行取得償還）事業
 事業主体：北谷町
 事業経費：182,484,840円
 （国145,987,000円、県2,699,000円、町33,798,840円）
 買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

③ 県補助事業

【平成30年度】

ア) 史跡・名勝保存修理事業

- a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業
 事業主体：那覇市
 事業経費：600,000円（県300,000円、市300,000円）
 事業内容：○石畳道の所々に石の欠損や沈下が確認されており、通行に支障をきたしていたため補修を行った。
- b) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業（石垣修理）
 事業主体：那覇市
 事業経費：1,080,000円（県540,000円、市270,000円、所有者270,000円）

事業内容：○石畳道沿いの民家の石垣が傾き、崩落の危険性があったため、解体積み直しを行った。

イ) 管理事業

a) 事業名：県史跡「ミントングスク」管理事業

事業主体：南城市

事業経費：100,000円（県50,000円、市50,000円）

事業内容：○県史跡「ミントングスク」の適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

④史跡・名勝の現状変更等

【平成30年度】

- 1) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年5月18日付30受庁財第4号の156）
中城村による一の郭北側城壁の解体積み直し及び遺構確認調査を文化庁が許可。
- 2) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成30年4月19日付け沖縄県教育委員会指令第12号）
読谷村による仮設舞台や仮設テントの設置等、イベントに係る現状変更を沖縄県教育委員会が許可。
- 3) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の226）
今帰仁村による主郭から志慶真門郭に至る階段の設置、サイン設置、外郭地区試掘調査を文化庁が許可。
- 4) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の224）
うるま市による石積側溝設置及び仮設道路設置を文化庁が許可。
- 5) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の225）
特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合による試料採取を文化庁が許可。
- 6) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の297）
うるま市による四の郭南側南風原御門付近の遺構調査を文化庁が許可。
- 7) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の374）
中城村による地滑り対策工事及び発掘調査を文化庁が許可。
- 8) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年5月25日付け沖縄県教育委員会指令第14号）
今帰仁村による電柱の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 9) 史跡「円覚寺跡」の現状変更（平成30年5月29日付け沖縄県教育委員会指令第19号）
沖縄県による三門跡における土質調査及び標準貫入試験を沖縄県教育委員会が許可。
- 10) 史跡「北大東島燐鉱山遺跡」の現状変更（平成30年6月15日付け30受庁財第4号の375及び平成30年10月2日付け30文庁第15号による計画変更）

北大東村による燐鉱石貯蔵庫南側石積補強及び土砂崩落防止工事を文化庁が許可。

- 11) 史跡「内間御殿」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の463）
西原町による東江御殿の西側外壁沿いの発掘調査及びサワフジを保護する柵の際設置を文化庁が許可。
- 12) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の509）
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所長による南城郭地区の管理者エリアにおける警備室建設を文化庁が許可。
- 13) 特別名勝「識名園」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の517）
那覇市による心字池周辺の石積復旧工事及び樹木の撤去を文化庁が許可。
- 14) 史跡「知念城跡」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の515）
南城市による西側城壁の根石の遺構確認調査及び西側城壁修復工事を文化庁が許可。
- 15) 史跡「糸数城跡」の現状変更（平成30年7月20日付け30受庁財第4号の516）
南城市による正門南側城壁沿いの遺構確認調査及び正門南側城壁石積工事を文化庁が許可。
- 16) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成30年6月28日付け教文第526号）
浦添市による内郭西地区における遺構確認調査を文化庁が許可。
- 17) 県史「野国貝塚群」の現状変更（平成30年6月21日付け沖縄県教育委員会指令第40号）
在沖アメリカ軍第718施設中隊環境保全課による電柱の設置及び光ファイバーケーブルの設置を沖縄県教育委員会文化財課が承認。
- 18) 県名「サンニヌ台」の現状変更（平成30年7月26日付け沖縄県教育委員会指令第38号）
与那国町による断層調査及び生痕化石調査に係る試料採取を沖縄県教育委員会が許可。
- 19) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年8月13日付け沖縄県教育委員会指令第41号）
中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 20) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成30年9月21日付け30受庁財第4号の890）
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所による美福門櫓の復元を文化庁が同意。
- 21) 史跡「銘苺墓跡群」の現状変更（平成30年9月21日付け30受庁財第4号の1023）
那覇市による伊是名御殿の墓の石敷きと石積の解体積み直しを文化庁が許可。
- 22) 県史「弁ヶ嶽」の現状変更（平成30年9月5日付け沖縄県教育委員会指令第44号）
那覇市による弁ヶ嶽西側縁の側溝及び集水枡の設置工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 23) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年9月21日付け沖縄県教育委員会指令第49号）
今帰仁城十三夜観月八重山芸能の夕べ実行委員会によるイベントに伴う仮

設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 24) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年9月21日付け沖縄県教育委員会指令第50号）

今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 25) 史跡「具志原貝塚」の現状変更（平成30年11月16日付け30受文庁第4号の40）
伊江村による発掘調査を文化庁が許可。

- 26) 県史名「首里金城町石畳道」の現状変更（平成30年10月18日付け沖縄県教育委員会指令第57号）

那覇市による配水枝管の修繕工事を沖縄県教育委員会が許可。

- 27) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年10月18日付け沖縄県教育委員会指令第55号）

中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 28) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成30年10月18日付け沖縄県教育委員会指令第56号）

中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 29) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成30年9月21日付け30受文庁第4号の890）

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所による南城郭の美福門礎道地区における発掘を文化庁が同意。

- 30) 県史「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成30年10月23日付け沖縄県教育委員会指令第58号）

首里城祭実行委員会による灯火ロウソク入りカップ設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 31) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更（平成30年11月16日付け30受文庁第4号の185）

北谷町による低湿地区における園路整備、せせらぎ水路の整備、雨水水路整備、高木植栽移植を文化庁が許可。

※設計は作成したものの、入札不調のため工事が行えなかったため平成31年3月29日付け30受文庁第4号の1118により平成31年度まで期間延長を承認。

- 32) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成30年11月16日付け30受文庁第4号の186）

久米島町による三の郭崩落部分の石積解体を文化庁が許可。

- 33) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成30年11月19日付け沖縄県教育委員会指令第62号）

株式会社NTTドコモによるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 34) 史「斎場御嶽」・名「アマクヌムイ」（斎場嶽）の現状変更（平成31年1月18日付け30受文庁第4号の496）

南城市による斎場御嶽入口からウローカーに至る参詣道における手摺及び階段の設置を文化庁が許可。

※資材の入荷に時間を要し、工期内に工事を完了できないため、平成31年3月29日付け30受文庁第4号の1119により平成31年度まで期間延長を承認。

- 35) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（平成31年1月18日付け沖縄県教育委員会指令第1号）

今帰仁村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 36) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成31年2月20日付け沖縄県教育委員会指令第7号）

中城村によるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 37) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成31年2月20日付け沖縄県教育委員会指令第8号）

株式会社エス・エー・ピーによるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

- 38) 史「弁之御嶽」・名「アマミクヌムイ」（弁之御嶽）の現状変更（平成31年3月18日付け30受文財第4号の916）

那覇市による弁ヶ嶽西側縁の側溝及び集水柵の設置工事を文化庁が許可。

※終了予定：令和2年3月31日

- 39) 県史名「首里金城町石畳道」の現状変更（平成31年3月6日付け沖縄県教育委員会指令第9号）

那覇市による石敷きの石材の取り外し及び整地、埋め戻しを沖縄県教育委員会が許可。

- 40) 県史名「首里金城町石畳道」の現状変更（平成31年3月6日付け沖縄県教育委員会指令第10号）

那覇市による石畳道に接する民家の石住の解体積み直しを沖縄県教育委員会が許可。

- 41) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成31年4月5日付け沖縄県教育委員会指令第21号）

株式会社エス・エー・ピーによるイベントに伴う仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。

9 銃砲刀剣類の登録

銃砲刀剣類の所持については、「銃砲刀剣類所持等取締法」による定めがある。その中でもとりわけ「美術品若しくは骨董品として価値のある火縄式鉄砲などの古式銃砲または美術品として価値のある刀剣類」の登録については、平成12年度の同法改正により、それまでの文化庁長官の機関委任事務から都道府県の自治事務となったため、県教育委員会が任命した銃砲刀剣類登録審査委員の鑑定に基づいて行うことになっている。銃砲刀剣類登録審査委員の任期は2年である。

平成30年度は平成31年2月28日（木）に登録審査会を行い、新規登録を行った。県内における銃砲刀剣類の登録件数は、平成31年3月31日現在で995件となっている。

平成30年度

区分	種別	申請件数	登録件数
刀剣類	た　　ち	0	0
	刀	10	4

刀剣類	わ き ざ し	4	1
	短 刀	0	0
	や り	0	0
	な ぎ な た	0	0
古式銃砲	火 縄 銃	0	0
	その他の古式銃砲	0	0
合 計		14	5

10 郷土文化保護育成

(1) 沖縄県立埋蔵文化財センター事業

県立埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

具体的には、団体見学の受け入れや体験学習、企画展、文化講座の開催をはじめ、資料の貸し出しと閲覧室の開放などを行っている。

これらを通して、埋蔵文化財に関する情報の活用を図り、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深めることを目途としている。

①常設展示

1)常設展示室

常設展示室は、10のテーマに沿ったコーナー展示を行っている。中央には、これまでの発掘調査の成果をもとに再現した「2,000年前の琉球のムラ」のジオラマ(模型)を配置し、当時の食べ物を復元した「琉球御膳」や埋葬の様子がわかる「石棺墓の半截模型」を設置した。

各コーナーには時代ごとの沖縄の歴史と文化を遺跡、遺物を通して理解できるよう解説している。

2)体験学習室

体験学習室は、見て、触れて、作る活動を通して、先人の知恵を体感することを目的としている。

まず、考古学の研究方法の一つである型式学による斧の形の移り変わりや、さまざまな土器のレプリカを通して理解することができる。また、発掘調査の集大成である調査報告書を作成するまでの出土遺物の整理(注記、実測、復元作業等)方法を学ぶことができる。

今後とも、考古学に関するさまざまな体験学習ができるように、内容を充実させていく。

②企画展示

1) 発掘調査速報展

当センターが前年度に行った発掘調査や分布調査の成果を、出土品の展示や遺構の写真、解説パネルを用い、広くかつ迅速に公開する。

2) 企画展

特定の考古資料や、特定の時期、地域をテーマにして、主な出土品を特集した展示をおこなっている。

3) 重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展」

当センターには、国指定の重要文化財「首里城京の内跡出土陶磁器」518点を所蔵している。貴重な重要文化財の価値を広く一般に公開するため、テーマを設け企画展示する。

平成30年度 企画展一覧

企画展名	開催期間	会場
沖縄県の戦争遺跡 ～前田高地から首里まで～	平成30年6月5日～6月24日	エントランスホール
移動展「白保4号人骨」	平成30年7月20日～7月29日	八重山博物館
「発掘調査速報2018」	平成30年7月31日～9月2日	企画展示室
蘇った国内最古の顔	平成30年9月26日～10月14日	エントランスホール
沖縄県の水中遺跡・沿岸遺跡	平成30年10月23日～11月30日	企画展示室
「私たちの文化財」図画作品展	平成30年11月27日～12月13日	エントランスホール
移動展 「慶来慶田城遺跡出土品展」	平成30年12月7日～12月9日	竹富町中野 わいわいホール
勝連城跡出土の西洋コイン	平成30年12月26日～12月27日	エントランスホール
巡回展「発掘調査速報2018」	平成31年1月8日～1月15日	伊江村農村環境 改善センター
重要文化財公開 「首里城京の内跡出土品展 ～大交易時代の琉球と日本～」	平成31年2月19日～5月12日	企画展示室

③普及活動

1) 団体見学

当センターは、学校や自治会などの団体見学を受け入れており、職員による解説や指導、体験学習を行うことができる。平成30年度は34団体（1,465名）を受け入れた。

2) 文化講座・ギャラリートーク

移動展「白保4号人骨」ギャラリートーク

日 時：平成30年7月21日（土）
場 所：石垣市立八重山博物館
講 師：片桐千亜紀（当センター職員）

第72回文化講座「発掘調査速報2018」（その1）

日 時：平成30年8月4日（土）
場 所：県立埋蔵文化財センター研修室
講 師：横尾昌樹（うるま市教育委員会）
亀島慎吾、田村薫、瀬戸哲也（当センター職員）

第73回文化講座「発掘調査速報2018」（その2）

日 時：平成30年8月12日（土）
場 所：県立埋蔵文化財センター研修室
講 師：玉榮飛道（伊江村教育委員会）
久貝弥嗣（宮古島市教育委員会）
具志堅清大、玉城綾（当センター職員）

第74回文化講座「沖縄県における水中遺跡の調査結果と保存活動」

日 時：平成30年10月28日（日）
場 所：県立埋蔵文化財センター研修室
講 師：中西祐見子（大阪府教育庁文化財保護課）
片桐千亜紀、新垣力（当センター職員）

第75回文化講座「琉球諸島に沈没した異国船の調査と研究」

日 時：平成30年11月17日（土）
場 所：県立埋蔵文化財センター研修室
講 師：片桐千亜紀（当センター職員）

第76回文化講座「勝連城跡出土西洋コインの謎」

日 時：平成30年12月22日（土）
場 所：県立埋蔵文化財センター研修室
講 師：津村眞輝子（古代オリエント博物館）

重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展～大交易時代の琉球と日本～」
ギャラリートーク

日 時：平成31年2月23日（土）
場 所：県立埋蔵文化財センター企画展示室
講 師：瀬戸哲也（当センター職員）

第 77 回文化講座「大航海時代の琉球と日本」

日 時：平成 31 年 3 月 23 日（土）

場 所：県立埋蔵文化財センター研修室

講 師：續伸一郎（堺市博物館）

大庭康時（福岡市埋蔵文化財課）

3) 体験学習

「焼かない ミニ土器作り」

日 時：平成 30 年 8 月 18 日（土） 定員：40 名

会 場：県立埋蔵文化財センター研修室

参加者：小学生と中学生（小学校低学年生は保護者同伴）

講 師：当センター職員

第3節 史料編集事業

沖縄県の先史から現代までの歴史を扱う「新沖縄県史」を編集・刊行を行うとともに、沖縄と中国・東南アジア・朝鮮等との交流の歴史を示す第一級の資料である「歴代宝案」の校訂本及び訳注本の編集・刊行を行っている。

新沖縄県史編集事業は平成5年度にスタートし、編集基本計画(平成27年最終改正)に沿って、史料調査を行うとともに、各論編・図説編・資料編・概説書・ビジュアル版等の企画・編集・刊行業務を進めている。平成30年度は、図やモノから琉球史を読み解く『図説編 前近代』を刊行した。歴代宝案編集事業は平成元年度にスタートし、刊行計画に基づき校訂本及び訳注本の刊行その他関連資料の編集・刊行業務を行っている。さらに中国第一歴史档案馆との協議書に基づく研究者の招聘、シンポジウムの開催、国内及び中国や台湾など国外の史料調査を実施している。なお、平成24年度からは沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)を活用し、「琉球王国外交文書等の編集刊行及びデジタル化事業」により「歴代宝案」の編集刊行業務を前進させている。また、同交付金を活用し、平成28年度から「近代沖縄史料デジタル化事業」を行っており、沖縄戦で焼失した近代沖縄の史料の収集と保存・継承及び利活用を図ることを目的にインターネット公開の準備を進めている。

1 編集委員会

1-1 新沖縄県史

(1) 新沖縄県史編集委員会 ※◎印は会長、○印は副会長

[任期:平成28年6月1日～平成30年5月31日]

◎ 吉 浜 忍	元沖縄国際大学教授
○ 宮 城 晴 美	沖縄大学・沖縄国際大学・琉球大学非常勤講師
赤 嶺 政 信	琉球大学教授
新 垣 安 子	女性史・移民研究者
石 原 昌 家	沖縄国際大学名誉教授
大 城 将 保	NPO法人沖縄県芸術文化振興協会理事長
狩 俣 繁 久	琉球大学教授
里 井 洋 一	琉球大学教授
高 良 倉 吉	琉球大学名誉教授
高 良 鉄 美	琉球大学法科大学院教授
田 名 真 之	沖縄県立博物館・美術館館長
豊見山 和 行	琉球大学教授

波照間 永 吉	沖縄県立芸術大学名誉教授
比 嘉 悦 子	沖縄県立芸術大学非常勤講師
比屋根 照 夫	琉球大学名誉教授

[任期:平成30年6月1日～令和2年5月31日]

◎ 吉 浜 忍	元沖縄国際大学教授
○ 宮 城 晴 美	沖縄大学・沖縄国際大学・琉球大学非常勤講師
赤 嶺 政 信	琉球大学教授
新 垣 安 子	女性史・移民研究者
大 城 學	元琉球大学教授
狩 俣 繁 久	琉球大学教授
近 藤 健一郎	北海道大学大学院准教授
里 井 洋 一	琉球大学教授
高 良 倉 吉	琉球大学名誉教授
高 良 鉄 美	琉球大学法科大学院教授
田 名 真 之	沖縄県立博物館・美術館館長
豊見山 和 行	琉球大学教授
鳥 山 淳	沖縄国際大学教授
波照間 永 吉	沖縄県立芸術大学名誉教授
比 嘉 悦 子	沖縄県立芸術大学非常勤講師

(2) 新沖縄県史専門部会 ※◎印は部会長、○印は副部会長

① 刊行計画検討専門部会

[任期:平成28年6月1日～平成30年5月31日]

[任期:平成30年6月1日～令和2年5月31日]

◎ 吉 浜 忍	元沖縄国際大学教授
○ 宮 城 晴 美	沖縄大学・沖縄国際大学・琉球大学非常勤講師
里 井 洋 一	琉球大学教授
高 良 倉 吉	琉球大学名誉教授
豊見山 和 行	琉球大学教授

② 図説編 前近代部会

[任期:平成28年6月1日～平成30年5月31日]

[任期:平成30年6月1日～令和2年5月31日]

◎ 里 井 洋 一	琉球大学教授
-----------	--------

- 豊見山 和 行 琉球大学教授
- 栗 国 恭 子 沖縄国際大学・沖縄県立芸術大学非常勤講師
- 安 里 進 前沖縄県立博物館・美術館館長
- 麻 生 伸 一 沖縄県立芸術大学講師

③各論編 民俗部会

[任期:平成27年12月1日～平成29年11月30日]

[任期:平成29年12月1日～令和元年11月30日]

- ◎ 赤 嶺 政 信 琉球大学教授
- 稲 福 み き 子 沖縄国際大学名誉教授
- 波 平 エ リ 子 沖縄女子短期大学准教授
- 萩 原 左 人 琉球大学教授
- 本 永 清 沖縄県文化財保護審議会委員

④各論編 現代部会

[任期:平成29年12月1日～令和元年11月30日]

- ◎ 高 良 鉄 美 琉球大学法科大学院教授
- 前 泊 博 盛 沖縄国際大学教授
- 鳥 山 淳 沖縄国際大学教授
- 仲 本 和 彦 公益財団法人沖縄県文化振興会公文書管理課資料公開
班長
- 宮 城 晴 美 沖縄大学・沖縄国際大学・琉球大学非常勤講師

⑤各論編 言語部会

[任期:平成30年8月10日～令和2年8月9日]

- ◎ 狩 俣 繁 久 琉球大学教授
- 下 地 理 則 九州大学大学院准教授
- 下 地 賀 代 子 沖縄国際大学准教授
- 當 山 奈 那 琉球大学准教授
- 仲 原 穰 琉球大学・名桜大学・沖縄国際大学他非常勤講師

1 - 2 歴代宝案

(1) 歴代宝案編集委員会 ※◎印は委員長、○印は副委員長

[任期:平成29年10月1日～平成31年9月30日]

- ◎ 金 城 正 篤 琉球大学名誉教授

○ 濱 下 武 志	東洋文庫研究部長
赤 嶺 守	琉球大学教授
生 田 滋	大東文化大学名誉教授
井 上 秀 雄	沖縄県立芸術大学名誉教授
上 里 賢 一	琉球大学名誉教授
高 良 倉 吉	琉球大学名誉教授
田 名 真 之	沖縄県立博物館・美術館館長
都 築 晶 子	龍谷大学名誉教授
豊見山 和 行	琉球大学教授
西 里 喜 行	琉球大学名誉教授
夫 馬 進	京都大学名誉教授
渡 辺 美 季	東京大学大学院准教授

(2) 歴代宝案編集委員会(作業部会) ※◎印は部会長、○印は副部会長
〔任期:平成29年10月1日～平成31年9月30日〕

◎ 田 名 真 之	沖縄県立博物館・美術館館長
○ 赤 嶺 守	琉球大学教授
井 上 秀 雄	沖縄県立芸術大学名誉教授
上 里 賢 一	琉球大学名誉教授
金 城 正 篤	琉球大学名誉教授
高 良 倉 吉	琉球大学名誉教授
豊見山 和 行	琉球大学教授
西 里 喜 行	琉球大学名誉教授

2 委員会の状況

(1) 新沖縄県史【平成30年度】

①新沖縄県史編集委員会

日時：平成30年12月28日（金）10:00～12:00

場所：県公文書館 講堂

内容：＜議事＞

1 報告事項

- (1) 平成29年度新沖縄県史編集委員会について
- (2) 平成29年度及び30年度刊行物について
- (3) 平成30年度各専門部会について

- (4) 県史料有償頒布について
- (5) 広報活動について
- (6) 普及版（ビジュアル版）について
- (7) 資料編・ビジュアル版の位置づけについて

2 審議

- (1) 図説編『前近代』の内容構成及び執筆者の承認について
- (2) 各論編『民俗』の内容構成及び執筆者の承認について
- (3) 新沖縄県史刊行計画（第四次）策定のスケジュールについて

②新沖縄県史編集専門部会

1) 新沖縄県史刊行計画検討専門部会

- 第1回 日時：平成30年11月30日（金）15:00～17:00
内容：・平成30年度各専門部会の内容報告と確認
・資料編、ビジュアル版の位置づけ
- 第2回 日時：平成31年2月21日（木）15:00～17:00
内容：・新沖縄県史刊行計画（第四次）について

2) 図説編 前近代部会

- 第1回 日時：平成30年8月20日（金）9:30～12:00
内容：用語の統一について
- 第2回 日時：平成30年9月27日（木）14:00～16:30
内容：タイプⅠ・Ⅱ原案の検討他
- 第3回 日時：平成30年11月29日（木）10:00～12:00
内容：年表、総説の検討他
- 第4回 日時：平成31年1月25日（金）15:00～17:15
内容：目次、凡例の検討他

3) 各論編 民俗部会

- 第1回 日時：平成30年5月14日（月）10:00～12:00
内容：内容構成、執筆者、原稿数の確定他
- 第2回 日時：平成30年10月19日（金）9:00～12:00
内容：原稿内容の検討他
- 第3回 日時：平成30年12月10日（金）9:00～11:30
内容：原稿内容の検討他

- 第4回 日時：平成31年3月25日（月）15:00～17:00
内容：原稿内容の検討他
- 4) 各論編 現代部会
 - 第1回 日時：平成30年6月1日（金）17:30～19:30
内容：タイトル・キーワードの検討他
 - 第2回 日時：平成30年8月28日（火）13:30～16:30
内容：執筆者の検討他
 - 第3回 日時：平成30年10月12日（金）13:30～16:30
内容：執筆者の検討他
 - 第4回 日時：平成31年2月12日（火）13:30～16:30
内容：執筆概要の検討他
 - 第5回 日時：平成31年2月26日（火）15:00～17:00
内容：執筆概要の検討他
- 5) 各論編 言語部会
 - 第1回 日時：平成30年8月10日（金）14:00～17:00
内容：部会立上げ 目次案、執筆者案の検討
 - 第2回 日時：平成30年12月26日（水）14:00～17:00
内容：目次案、執筆者案の検討他

(2) 歴代宝案【平成30年度】

①歴代宝案編集委員会

日時：平成30年11月16日（金）13:30～17:00

場所：県公文書館 会議室

内容：1 審議

(1) 訳注本の進捗状況と問題点

2 報告

(1) 平成29年度刊行物、平成30年度予定刊行物

(2) 歴代宝案デジタル化事業について

(3) 第12回琉球・中国交渉史に関するシンポジウム（北京開催）について

(4) 平成30年度国内調査、国外調査について

参考人意見聴取：

高 建平氏（中国第一歴史档案館 弁公室主任）

「中国第一歴史档案館における最近の活動成果と今後の中琉档案編

集計画の紹介」

孫 浩洵氏（中国第一歴史档案馆 満文処翻訳科主任科員）

「乾隆六十年の琉球進貢船強奪事件再論」

②歴代宝案編集委員会作業部会

○第1回 日時：平成30年5月25日（木）15:00～17:00

場所：県公文書館 会議室

1. 審議

①校訂本・訳注本の進捗状況と問題点

②歴代宝案編集基本計画（第三次刊行計画）について

2. 報告

①平成29年度刊行物

②国内史料調査報告

3. その他

①校訂本全冊刊行終了にあたっての企画など

○第2回 日時：平成31年2月28日（木）14:00～17:00

場所：県公文書館 会議室

1. 審議事項

①訳注本の進捗状況と問題点

②補遺編の編集方針について

③第三次刊行計画と刊行物(辞典・索引)の内容について

2. 報告事項

①沖縄県立図書館における歴代宝案普及のための企画展

②小葉田亨氏よりの本の寄贈

3 平成30年度刊行物・史料調査等

(1) 平成30年度刊行物一覧

①『沖縄県史 図説編 前近代』

(A4判、332頁、1,500部)

②『沖縄県史だより』第28号 (A4判、8頁、1,500部)

③『歴代宝案 訳注本 第6冊』(B5判、536頁、1,000部)

④『歴代宝案編集参考資料20 歴代宝案 訳注本第6冊 語注一覧表』

(A4判、188頁、1,000部)

- ⑤『中琉歴史関係档案』咸豊朝（一）（二）（三）
（A5判、449頁、430頁、453頁、各200部）
- ⑥『沖縄史料編集紀要』第42号（B5判、224頁、1,100部）

（2）史料調査収集事業及び交流事業

1)-1 新県史史料調査収集事業

①資料収集調査

目的：ベッテルハイム日記翻訳版編集にかかる資料調査・収集
 期間：平成31年3月21日（木）～23日（土）
 場所：青山学院女子短期大学図書館、東京都立図書館
 調査員：本村育恵（専門員）
 概要：「The Chinese Repository」・『鑄以代刻—伝教士与中文印刷変局』の調査
 成果：資料収集。

②資料収集調査

目的：沖縄県史資料調査・収集
 期間：平成31年3月21日（木）～22日（金）
 場所：石垣島の御嶽及び石垣市立八重山博物館
 調査員：城間恒宏（指導主事）
 概要：『沖縄県史 各論編16 民俗編』編纂にかかる石垣島の御嶽等の撮影。
 石垣市立八重山博物館において近代沖縄史料デジタル化事業にかかる資料調査。
 成果：撮影資料

③資料収集調査

目的：沖縄県史資料調査・収集
 期間：平成31年3月26日（火）～28日（木）
 場所：鹿児島大学総合研究博物館、鹿児島県立図書館、鹿児島県歴史資料センター黎明館、知覧武家屋敷庭園
 調査員：小野まさ子・城間恒宏・納富香織（指導主事）
 概要：『鹿児島新聞』『鹿児島教育』『昭和5年同窓会会員名簿（鹿児島高等農林学校同窓会）』等、沖縄関係資料の収集及び「石敢当」「隅頭石」等琉球建築の影響・伝播等関係の調査・撮影、『沖縄県史 各論編16 民俗』写真資料借用等調整。
 成果：沖縄関係資料の収集及び撮影資料

④資料収集調査

目 的：明代の冊封使李際春・杜三策及び山東省で病故した琉球人阮大鼎に関する史跡・史料調査

調査期間：平成30年9月5日（水）～9月12日（水）

調査場所：河南省（鄭州市・開封市）、山東省（東平市・済寧市・済南市・泰安市）

調査員：野村直美（指導主事）、頼正維（福建師範大学社会歴史学院教授）

概 要：○冊封使李際春子孫への聞き取り、関連記載の地方誌調査（鄭州市図書館）。

○李際春墓（杞県）調査、貢道である運河関連資料調査（河南省博物院、開封市博物館）。

○冊封使杜三策墓調査及び関連資料調査（東平県博物館）、阮大鼎墓及び運河関連調査（済寧市図書館、済寧市博物館、阮大鼎墓跡）。

成 果：冊封使李際春・杜三策の家譜・墓地の撮影、運河関連資料の撮影。

1)-2 新県史交流事業

①第12回琉球・中国交渉史に関するシンポジウム参加

目 的：第12回シンポジウム参加、学术交流事業に係る関係機関表敬、琉球関係史跡等の調査

期 間：平成30年10月28日（日）～11月1日（木）

場 所：北京国二招賓館（シンポジウム開催）、故宮、中国第一歴史档案館、通州区張家湾琉球人墓地、天壇、国子監、中国国家档案局

参加者：與那嶺善道（教育指導統括監）・當間正和（参事）・田名真之（発表者 歴代宝案編集委員）・渡辺美季（発表者 歴代宝案編集委員）・赤嶺守（歴代宝案編集委員）・西江幸枝（史料編集班長）・野村直美（指導主事）・漢那敬子（主任専門員）・外間みどり（主任専門員）

概 要：琉球・中国交渉史に関するシンポジウムにおいて日本側2名・中国側6名が論文発表。また、中国第一歴史档案館史料調査。

成 果：『歴代法案』や中国第一歴史档案館に現存する琉球関係答案の分析を通して中流交流史研究の発展に貢献。

②中国第一歴史档案館より参考人招聘

目 的：歴代宝案の編集作業に資するため、歴代宝案編集委員会において、中国第一歴史档案館の研究者・専門家の意見を聴取する。

期 間：平成30年11月14日（水）～18日（日）

概 要：下記の2名を招集し、参考意見報告を行った。

高建平（中国第一歴史档案馆 弁公室主任）

「中国第一歴史档案馆における近年の事業成果と今後の『中琉歴史関係
档案』編集計画の紹介」

孫浩洵（中国第一歴史档案馆 満文処翻訳科主任科員）

「乾隆六十年の琉球貢舟略奪事件再論」

成 果：中国第一歴史档案馆の所蔵史料及び、編集刊行委託中の『中流歴史関
係档案』の史料紹介と解説

2) 琉球王国の交流史に関する史料調査収集事業（沖縄振興特別推進交付金事業）

①国内調査 琉球王国交流史に関する史料調査

調査目的：公益財団法人陽明文庫等における琉球王国交流史に関する史料調査

調査期間：平成30年7月3日（火）～7月6日（金）

調査場所：公益財団法人陽明文庫、京都府立京都学・歴彩館

調 査 員：外間みどり（主任専門員）・篠原あかね（沖縄県立博物館・美術館
学芸員）・早瀬千明（元史料編集業務員）・濱地龍磨（史料編集業務
員）・都築晶子（歴代宝案編集委員）

概 要：陽明文庫において「孔林楷杯」及び琉球関係資料（書）の調査及び
撮影。京都府立京都学・歴彩館において陽明文庫（近衛家）のデジ
タル画像の閲覧。

成 果：「孔林楷杯」等琉球関係資料の撮影・採寸等

②国外調査 琉球王国の交流史に関する国外史料調査（台湾）

調査目的：『歴代宝案』訳注本および琉球王国交流史に関する史料調査

調査期間：平成30年8月26日（日）～8月30日（木）

調査場所：国立故宫博物院図書文献館・台湾大学図書館・中央研究院歴史語言
研究所

調 査 員：赤嶺守（歴代宝案編集委員）・前田舟子（沖縄大学講師）・漢那敬子
（主任専門員）

概 要：○国立故宫博物院図書文献館において、平成30年度刊行予定の『歴
代宝案訳注本第6冊』関係人名史料（伝包）などを閲覧・調査。
○台湾大学図書館において、琉球関係古文書・田代安定史料などを
閲覧・調査。
○中央研究院歴史語言研究所において「封琉球國王詔書稿」など25
件を閲覧・調査。

成 果：歴代宝案訳注本に関わる資料 ①伝包13枚、②属国列伝より琉球関
係資料70枚。

3) 近代沖縄に関する史料調査収集事業（沖縄振興特別推進交付金事業）

①近代沖縄史料デジタル化事業にかかる資料調査

調査目的：植物標本に使用された新聞の中から戦前の沖縄の新聞を探す

調査期間：平成30年9月9日（月）～9月13日（木）

調査場所：高知県立牧野植物園

調査員：城間恒宏（指導主事）・納富香織（指導主事）・当山昌直（史料編集
業務員）・赤嶺香澄（史料編集業務員）

概要：新聞資料36箱（1箱約600枚）約21,600枚の仕分けを行う

成果：『琉球新報』『沖縄タイムス』など沖縄の新聞（紙名不明含む）が14
枚、沖縄県外紙に掲載された沖縄関係記事33点、高知県の土陽新聞
・高知新聞をはじめとした四国内の地方紙892枚を確認。特に『琉球
新報』大正9年9月11日1・2面、及び『沖縄タイムス』大正10年5月24
日3・4面は、これまで所蔵が確認されていない新史料。

②近代沖縄史料デジタル化事業にかかる資料調査

調査目的：資料調査①に引き続き、植物標本に使用された新聞の中から戦前の
沖縄の新聞を探す。

調査期間：平成31年3月4日（月）～3月7日（木）

調査場所：高知県立牧野植物園

調査員：城間恒宏（指導主事）・納富香織（指導主事）・青山倭子（史料編集
業務員）・赤嶺香澄（史料編集業務員）

概要：新聞資料21箱（1箱約600枚と想定）約12,600枚を仕分け

成果：明治期の『琉球新報』13点、『沖縄毎日新聞』4点の原紙を確認。
その他、『鹿児島新聞』『鹿児島朝日新聞』『大阪朝日新聞』『東京日
日新聞』『時事新報』に掲載されていた沖縄関係記事20点、『土陽新
聞』『高知新聞』等の高知関係地方紙192点を確認。